

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
バレエ&ダンス			
マリンスキー・バレエ2008「ストラヴィンスキーとバレエ・リュス」	9,10,11,12,13,14,15,16,22	必見！これぞ20世紀文化の幕開け！ストラヴィンスキーのバレエ3作品の初演時の舞台を、ゲルギエフとマリンスキー・バレエが総力を挙げて再現した貴重な映像。	<p>[演目]バレエ『火の鳥』[音楽]イーゴル・ストラヴィンスキー[振付&台本]ミハイル・フォーキン[振付復元]イザベル・フォーキン、アンドリス・リエパ[美術&衣裳]アレクサンドル・ゴロヴィン、レオン・バクスト、ミハイル・フォーキン[美術&衣裳復元]アンナ・ネズニー&アナトリー・ネズニー[出演]エカテリーナ・コンダウーロワ（火の鳥）イリヤ・クズネツォフ（イワン王子）マリアンナ・パブロワ（王女）ウラジーミル・ポノマレフ（不死身のカシチエイ）マリンスキー・バレエ団</p> <p>[演目]バレエ『春の祭典』（ミリセント・ハドソンとケネス・アーチャーによる再構成版）[音楽]イーゴル・ストラヴィンスキー[振付]ヴァーツラフ・ニジンスキー[振付復元]ミリセント・ハドソン[台本]イーゴル・ストラヴィンスキー&ニコライ・レーリヒ[美術&衣裳]ニコライ・レーリヒ[美術&衣裳復元]ケネス・アーチャー[照明]ウラディミール・ルーキン[出演]アレクサンドラ・イオシフィディ（選ばれし生贄の乙女）エレナ・バジェーノワ（300歳の女長老）ウラジーミル・ポノマレフ（賢者）マリンスキー・バレエ団</p> <p>[演目]バレエ・カンタータ『結婚』[音楽&台本]イーゴル・ストラヴィンスキー[振付]プロニスラヴァ・ニジンスカ[美術&衣裳]ナタリア・ゴンチャロワ[美術復元]ボリス・カミンスキー[衣裳復元]タチアナ・ノギノヴァ[出演]アンナ・シシエワ（花嫁）セルゲイ・ポポフ（花婿）エレナ・バジェーノワ（花嫁の母）ロマン・スクリプキン（花嫁の父）ワレリア・カルピーナ（花婿の母）ピョートル・スタシュナス（花婿の父）マリンスキー・バレエ団</p> <p>[指揮]ヴァレリー・ゲルギエフ[演奏]サンクトペテルブルク・マリンスキー劇場管弦楽団、イリーナ・ワシリエワ（ソプ</p>
ノーザン・バレエ『ジョージ・オーウェルの1984』	1,2,8,	名作古典SFがバレエ化！今話題の振付師ジョナサン・ワトキンスとノーザン・バレエによる、演劇とバレエの融合が現代のリアルを描き出す。	<p>[出演]トビアス・バトレイ（ウィンストン・スミス）マーサ・リーボルト（ジュリア）ジャヴィア・トレス（オプライン）高橋宏尚（チャリントン氏）ジュリアーノ・コンタディーニ（パーソンズ）アシュレイ・ディクソン（マーティン）ケヴィン・ベン（アンブルフォース）ヴィクトリア・シブソン（リード・プロレ）ノーザン・バレエ団</p> <p>[振付]ジョナサン・ワトキンス[音楽]アレックス・バラノフスキ[原作]ジョージ・オーウェルの小説『1984』[装置&衣裳]サイモン・ドー[照明]クリス・デイヴィー[ビデオ]アンジェイ・グールディング[ドラマトウルギー]ルース・リトル[指揮]ジョン・ブライス=ジョーンズ[演奏]ノーザン・バレエ・シンフォニア管弦楽団[収録]2016年5月24日～28日サドラーズ・ウェルズ劇場（ロンドン）[映像監督]ロス・マクギボン</p> <p>■字幕/全2幕：約1時間30分</p>
アロンゾ・キングの『トライアングル・オブ・ザ・スクインシエズ』	2,3,4,5,6,7,8,15,	アメリカで人気のバレエ・カンパニー、面目躍如！不思議な音楽の中で、ダンサーたちが魅せる身体存在感、生命の躍動感！	<p>[出演]アロンゾ・キング・ラインズ・バレエ（デイヴィッド・ハーベイ、コートニー・ヘンリー、アシュレイ・ジャクソン、ローレル・キーン、ユージン・キム、ビクター・M・アレリアノ、マイケル・モンゴメリー、キャロリン・ロシュ、ザック・タン、メレディス・ウェブスター、キーラン・ホワイトモア、カラ・ウィルクス、リカルド・ザヤス）</p> <p>[原案&振付]アロンゾ・キング[音楽]ミッキー・ハート[装置]クリストファー・ハース[衣裳]ロバート・ローゼンワッサー[照明]アクセル・モーゲンサラー[収録]2011年サンフランシスコ[映像監督]アンドレアス・モレル</p> <p>■全2幕：約1時間3分</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
バレエ・オブ・ディファレンス『ON BODY～UNITXT』	1	時代の先端を行く振付家R.シーガルの3作品。他分野のトップ・アーティストたちとのコラボレーションを通して、「21世紀のバレエ」を多角的に追求する鬼才。	〈第3部〉『UNITXT』 [出演]バレエ・オブ・ディファレンス（コンテンポラリー・ダンス・カンパニー）[振付・演出・照明・映像デザイン]リチャード・シーガル[音楽]アルヴァ・ノト[オブジェ&衣装デザイン]コンスタンティン・グルッチ[収録]2018年2月タンツ・ケルン（ドイツ）[映像監督]ベネディクト・メロウ
ウィーン国立歌劇場バレエ『ヨーゼフの伝説』	5,6,7,9,10,11	1942年米国生まれ。ダンサーとして英国ロイヤル・バレエ学校に学び、所属したシュトゥットガルト・バレエ団で振付家に転身。フランクフルト・バレエ団芸術監督を経て、1973年より現在まで長きにわたりハンブルク・バレエ団芸術監督を務めるジョン・ノイマイヤー。彼の振付作品の特徴は、「名作文学のバレエ化」「古典バレエの新演出／新解釈」「音楽を視覚化するシンフォニック・バレエ」。この番組は、彼の初期における「古典バレエの新演出／新解釈」の代表作です。	[出演]ケヴィン・ヘイゲン（ヨーゼフ） ジュディス・ジャミソン（ポティファルの妻） カール・ムジル（天使） フランツ・ヴィルヘルム（ポティファル） 他 [振付&演出&映像監督]ジョン・ノイマイヤー[美術&衣装]エルンスト・フックス[音楽]リハルト・シュトラウス[指揮]ハイリヒ・ホルライザー[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団[映像収録]1977年8月17日～28日 ウィーン・フィルム&ローゼンヒューゲル[音声収録]1977年6月13日～14日ウィーン・フィルム&ジーフェリング ■約1時間7分
ルドルフ・ヌレエフ&マーゴ・フォンテイン『白鳥の湖』	19,20,21,23,24,25	チャイコフスキーの三大バレエのひとつでクラシック・バレエの代名詞『白鳥の湖』を、20世紀を代表する2人の偉大なダンサー、ルドルフ・ヌレエフとマーゴ・フォンテインが踊った永久保存版。ヌレエフ28歳、フォンテイン47歳の、まさに「奇跡のパートナーシップ」を見る歴史的映像。	[音楽]ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：バレエ『白鳥の湖』Op.20[振付&演出]ルドルフ・ヌレエフ[台本]ウラディーミル・ベギチェフ&ワシリー・ゲルツァー[美術&衣装]ニコラス・ゲオルギアディス[装置]フリッツ・ユブトナー＝ジョンストルフ&フリッツ＝ガブリエル・パウアー[指揮]ジョン・ランチベリー[演奏]ウィーン交響楽団[出演]マーゴ・フォンテイン（オデット／オディール） ルドルフ・ヌレエフ（ジークフリート王子） ウィーン国立歌劇場バレエ団[撮影]ギュンター・アンダース[監督]チオルック・ブランス[制作]1966年 ■全4幕（映画版）：約1時間49分
テロ・サーリネン『反射光』	23,24,25,26,27,28,29	日本でも大きな話題を呼んだフィンランドの振付家&ダンサー、テロ・サーリネンの代表作『反射光』は、素朴な歌と、静謐な光と影の中、清教徒シェーカー派の共同体の宿命を描く。	[振付]テロ・サーリネン[音楽監督]ジョエル・コーエン、アンヌ・アゼマ[照明]ミッキ・クント[衣装]エリカ・トゥルネン [出演]テロ・サーリネン・カンパニー、ボストン・カメラータ（歌） [収録]2014年3月15日シャイヨー宮国立劇場（パリ） [監督]ルイズ・ナルボニ ■約1時間17分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
シュレプファー & バレエ・アム・ライン『白鳥の湖』	16,1 7,18 ,19, 20,2 1,22 ,23, 29	次期ウィーン国立バレエ芸術監督マーティン・シュレプファー振付の衝撃の舞台！オデットの継母と祖父の対決！果たしてオデットとジークフリートの運命は如何に？	[出演]マルコス・メンハ（ジークフリート） マルルシア・ド・アマラル（オデット） ホ・ヨンスン（オデットの継母） ソニー・ロクシン（ロットバルト） ヴァーヅニア・セガーラ・ヴィダル（ジークフリートの母） チドジー・ンゼレム（式部長） アレクサンドル・シモエス（ベンノ） カミール・アンドリオ（オディール） ボリス・ランドツィオ（オデットの祖父） 加藤優子、キム・ソヨン、中ノ目知章、エリック・ホワイト（継母の側近） バレエ・アム・ライン [振付]マーティン・シュレプファー [音楽]ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：バレエ『白鳥の湖』Op.20 [オリジナル台本]ウラディーミル・ベギチエフ&ワシリー・ゲルツァー [装置 & 衣裳]フロリアン・エツィ [照明]シュテファン・ホリガー [ドラマトルギー]アンヌ・ド・パコ [指揮]アクセル・コーバー [演奏]デュッセルドルフ交響楽団 [収録]2018年デュッセルドルフ歌劇場（ドイツ） [映像監督]ペーター・シェーンホーファー ■全4幕：2時間20分（番組枠）
アレクサンダー・エクマンの『真夏の夜の夢』	2,3	スカンジナビアの「夏至祭」で湧き出す生の喜び、そして夜の夢に誘われて…。人気振付家エクマンがスウェーデン王立バレエと創り上げた異空間！ 『真夏の夜の夢』といっても、シェイクスピアの作品ではありません。これは、スウェーデン王立バレエ団やネーザerland・ダンス・シアターII、とクルベリー・バレエで踊った後、2006年から振付家として活躍するアレクサンダー・エクマンが、作曲家ミカエル・カールソンと組んで2015年にスウェーデン王立バレエ団のために振り付けた作品。この番組は、2016年9月に行われた再演の映像です。	[出演]ドラゴス・ミハルセア（夢見る人） ジェニー・ニルソン（ホステス） サラ＝ジェーン・プロドベック（愛人） レア・ヴェッド、ロス・マーティンソン、アマンダ・エーケソン、デヴォン・カルボン（恋人たち） ダリア・イヴァノヴァ、デジスラヴァ・ステーヴァ（夢見る女たち） ジョニー・マクミラン（Mr.カノン） ロス・マーティンソン（パブラー） ダニエル・ノルグレン＝イエンセン（シェフ・オン・ポワント） スウェーデン王立バレエ団 [振付 & 装置]アレクサンダー・エクマン [音楽]ミカエル・カールソン [ヴォーカル]アンナ・フォン・ハウスウォルフ [歌詞]ミカエル・カールソン、アンナ・フォン・ハウスウォルフ [サウンドデザイン]アレクサンダー・エクマン、ミカエル・カールソン [衣裳]プレヒ・ファン・バーレン [照明]ライナス・フェルボム [演奏]ダールクヴィスト弦楽四重奏団、ニコラス・ブロンマーレ（パーカッション） ヘンリック・モーウェ（ピアノ） [収録] 2016年9月5日 & 10日スウェーデン王立歌劇場（ストックホルム） [映像監督] トミー・パスカル ■約1時間39分
ムラド・メルズキ『ピクセル』	12,1 3,14 ,16, 17,1 8	フィジカルとデジタルの融合と対話による、シームレスな現実と虚構。ヒップホップの第一人者メルズキが創りだす、目をみはる詩的で幻想的な世界。 冒頭、スクリーンに浮かび上がる『PIXEL』のタイトル文字が砂のように砕け、流れ散るところから、普通ではない舞台が始まる予感。そしてそれは想像を超えていく……。	[出演]カンパニー・カフィグ [アーティストック・ディレクター & 振付]ムラド・メルズキ [デジタルアート]アドリアン・モンドー & クレール・バルデンヌ [音楽]アルマン・アマール [照明]ヤン・ティヴォリ [衣裳]パスカル・ロバン [収録]2014年1月21日メゾン・デザール・ド・クレティユ（フランス） [映像監督]モハメド・アタムナ ■字幕 / 約1時間12分
オペラ			

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ローマ歌劇場2017『ファウストの劫罰』	2,3,4,6,7,15	ベルリオーズの劇的物語が鬼才ダミアノ・ミキエレット演出によるオペラ上演として話題沸騰のローマ歌劇場公演！指揮は2018年12月より同歌劇場音楽監督に就任したダニエレ・ガッティ。	<p>[出演]パヴェル・チェルノフ（ファウスト／テノール）アレックス・エスポージト（メフィストフェレス／バス・バリトン）ヴェロニカ・シメオニ（マルグリート／メゾ・ソプラノ）ゴラン・ユリッチ（ブランデル／バス）</p> <p>[演目]エクトール・ベルリオーズ：4部の劇的物語『ファウストの劫罰』Op.24[台本]アルミール・ガンドニエール&エクトール・ベルリオーズ[原作]ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテの詩劇『ファウスト』のジェラルド・ド・ネルヴァルによるフランス語訳 [演出] ダミアノ・ミキエレット [装置] パオロ・ファンティン [衣裳] カルラ・テーティ [照明] アレッサンドロ・カルレッティ [ビデオ] ロカ・フィルム [パントマイム] キアラ・ヴェッキ [指揮] ダニエレ・ガッティ [演奏] ローマ歌劇場管弦楽団及び同合唱団、同合唱学校[合唱指揮]ロベルト・ガッピアーニ[収録]2017年12月14日ローマ歌劇場[映像監督]クラウディア・デ・トーマ</p> <p>■字幕／全15場：約2時間12分</p>
ウィーン国立歌劇場2008『ニュルンベルクのマイスタージンガー』	8	「2000年にこの作品でパイロイト・デビューを飾ったティーレマンは、世界をリードするワーグナー指揮者の地位を確立した」と最大級の賛辞が寄せられた2008年1月ウィーン国立歌劇場公演。2008年秋の同歌劇場来日公演では演目に予定されながら、条件面で折り合えずキャンセルになった、日本人にとっては幻の『マイスタージンガー』です。	<p>[出演]ファルク・シュトルックマン（ハンス・ザックス／バス・バリトン）リカルダ・メルベート（エヴァ／ソプラノ）ヨハン・ポータ（ヴァルター・フォン・シュトルツィング／テノール）アドリアン・エロード（ジクストゥス・ベックメッサー／バリトン）アイン・アンガー（ファイト・ボーグナー／バス）ミハエル・シャーデ（ダーヴィット／テノール）ミハエラ・ゼリンガー（マグダレーナ／アルト）アレクサンダー・カウムバッハヤ（クッツ・フォーゲルゲザング／テノール）ヴォルフガング・コッホ（フリッツ・コートナー／バス）マルクス・ベルツ（コンラート・ナハティガル／バス）コスミン・イフリム（バルタザール・ツォルン／テノール）ミハエル・ロイダー（ウルヒ・アイスリンガー／テノール）ペーテル・イエロシツ（アウグスティン・モーザー／テノール）クレメンス・ウンターライナー（ヘルマン・オルテル／バス）アルフレッド・シュラメック（ハンス・シュヴァルツ／バス）ヤヌス・モナルチャ（ハンス・フォルツ／バス）ヴォルフガング・バンクル（夜警／バス）ウィーン国立歌劇場バレエ学校の生徒たち</p> <p>[演目]リヒャルト・ワーグナー：3幕の楽劇『ニュルンベルクのマイスタージンガー』[台本]リヒャルト・ワーグナー[演出]オットー・シェンク[装置&衣裳]ユルゲン・ローゼ[振付]ヴォルフガング・グローラー、ルーカス・ガウデルナク [指揮]クリスティアン・ティーレマン[演奏]ウィーン国立歌劇場管弦楽団及び同合唱団、同ステージ楽団[合唱指揮]トーマス・ラング</p> <p>[収録]2008年1月19日&23日ウィーン国立歌劇場 [映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ</p>
ロッシーニ・オペラ・フェスティバル2010『ジジスモンド』	14,16,17,18,19,20,21,29	ロッシーニの生まれ故郷ペーザロで行われる「ロッシーニ・オペラ・フェスティバル」2010年開幕を飾り、賛否両論の大騒動を巻き起こした話題の公演。1814年ヴェネツィアで初演された『ジジスモンド』は現在では殆ど上演されないロッシーニの中でも特に珍しいオペラ。妻に裏切られたと信じて彼女を死刑にした王ジジスモンドが後悔のため、狂気に陥るが、生きていた妻に再会することで正気と愛を取り戻す。	<p>[出演]ダニエラ・バルチェッローナ（ジジスモンド／メゾ・ソプラノ）オルガ・ペレチャツコ（アルディミーラ／ソプラノ）アントニーノ・シラグーザ（ラディスラオ／テノール）アンドレア・コンチェッティ（ウルデリーコ、ゼノヴィート／バス）マヌエラ・ビシエリエ（アナジルダ／ソプラノ）エネア・スカラ（ラドスキ／テノール）</p> <p>[演目]ジョアキーノ・ロッシーニ：2幕のドラマ・ペル・ムジカ『ジジスモンド』（パオロ・ピナモンティ校訂によるクリティカル・エディション）[台本]ジュゼッペ・フォッパ[演出]ダミアノ・ミキエレット[装置]パオロ・ファンティン[衣裳]カルラ・テーティ[照明]アレッサンドロ・カルレッティ</p> <p>[指揮]ミケーレ・マリオッティ[演奏]ボローニャ歌劇場管弦楽団及び同合唱団、ジュリオ・ザッパ（フォルテピアノ）サラ・ナンニ（チェロ／通奏低音）[合唱指揮]パオロ・ヴェロ[収録]2010年8月テアトロ・ロッシーニ（ペーザロ）[映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ</p> <p>■字幕／全2幕：約2時間46分</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ベルゴレージ・フェスティバル『リヴィエッタとトラッコロ』	2,4,9,10,30,31	モーツァルト、ロッシーニと並び称されるイタリアのオペラ作曲家ベルゴレージの生誕300年を記念して、2010年から1年がかりで行われた大プロジェクト「トゥット・ベルゴレージ（すべてベルゴレージ）」。ベルゴレージの生地イエージで彼の作品研究を長年行っているベルゴレージ・スポンティーニ財団が主導となり、彼の人気曲から上演機会の少ない優れた作品まで様々なオペラ、宗教曲、器楽曲を取り上げた記念碑的イベントとして大きな話題となった。	<p>[出演]モニカ・パチェリ（リヴィエッタ/メゾ・ソプラノ）カルロ・レポーレ（トラッコロ/バス）</p> <p>[演目]ジョヴァンニ・バッティスタ・ベルゴレージ：2部のインテルメッツォ『リヴィエッタとトラッコロ（ずるい田舎女）』（ゴルダーナ・ラザレヴィチによるクリティカル・エディション）</p> <p>[台本]トンマーゾ・マリアーニ</p> <p>[演出]イグナシオ・ガルシア</p> <p>[装置]スリマ・メンバ・デル・オルモ</p> <p>[衣裳]パトリチア・トッフォルッティ</p> <p>[照明]イグナシオ・ガルシア、ファブリツィオ・ゴッビ</p> <p>[指揮&チェンバロ]ホッター・ヴィオ・ダントーネ</p> <p>[演奏]アカデミア・ビザンティーナ</p> <p>[収録]2010年6月8日&12日、ベルゴレージ劇場(イエージ、イタリア)</p> <p>[映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ</p> <p>■字幕/全2部：約52分</p>
ウィーン国立歌劇場2012『アラベラ』	3,4,5,6,7,15	ウエルザー=メスト指揮ウィーン・フィルのとろけるような音楽をバックに、コミカルながら大人の味わいで、4人の男女の恋の駆け引きがしっかりと描かれるR・シュトラウスの傑作。音の魔術師リチャルト・シュトラウスの美しい音楽に彩られた傑作オペラ。	<p>[出演]エミリー・マギー（アラベラ/ソプラノ）ゲニア・キューマイヤー（ズデンカ/ソプラノ）トマシュ・コニエチュー（マンドリカ/バリトン）ミハエル・シャーデ（マッテオ/テノール）ヴォルフガング・バンクル（ヴァルトナー伯爵/バリトン）ゾルヤナ・クシュブラー（アデライーデ/メゾ・ソプラノ）ノルベルト・エルンスト（エルマー伯爵/テノール）クレメンス・ウンターライター（ドミニク伯爵/バリトン）ソリン・コリバン（ラモラル伯爵/バス）ダニエラ・ファリー（フィアカーミツリ/ソプラノ）ドンナ・エレン（占い女/ソプラノ）</p> <p>[演目]リチャルト・シュトラウス：3幕の抒情的喜劇『アラベラ』[台本]フーゴ・フォン・ホーフマンスタール[演出]スヴェン=エリク・ベヒトルフ[装置]ロルフ・グリッテンベルク[衣裳]マリアンネ・グリッテンベルク[指揮]フランツ・ウエルザー=メスト[演奏]ウィーン国立歌劇場管弦楽団及び同合唱団、ウィーン国立歌劇場ステージ・オーケストラ[合唱指揮]マルティン・シェベスタ[収録]2012年5月6日&9日ウィーン国立歌劇場[映像監督]ドン・ケント</p> <p>■字幕/全3幕:約2時間34分</p>
ザルツブルク音楽祭2013『ファルスタッフ』	7,9,10,11,12,13,14,22,	ヴェルディとワーグナーが生誕200年の記念すべき2013年、ザルツブルク音楽祭新制作オペラの1本。このシェイクスピアの喜劇を原作とするヴェルディ最後のオペラは、アリアというよりもアンサンブルがとて重要な作品。ズービン・メータが指揮するウィーン・フィルの美しい音色が、モーツァルト・ハウスの小空間の中で冴え渡ります。ある意味ドイツ的な緻密なオーケストラの中で、主要な歌手たちが会話劇としてのアンサンブルを構築し評判を呼びました。	<p>[出演]アンブロジーノ・マエストリ（ファルスタッフ/バリトン）フィオレンツァ・チェドリンズ（アリーチェ/ソプラノ）マッシモ・カヴァレッティ（フォード/バリトン）エレオノラ・ブラット（ナンネッタ/ソプラノ）エリーザベト・クールマン（クイックリー夫人/メゾ・ソプラノ）ステファニー・ハウツィール（メグ・ペイジ夫人/メゾ・ソプラノ）ハビエル・カマレナ（フェントン/テノール）ルカ・カザリン（医師カイウス/テノール）ジャンルカ・ソッレンティーノ（バルドルフォ/テノール）ダヴィデ・フェルシーニ（ピストーラ/バス）</p> <p>[演目]ジュゼッペ・ヴェルディ：3幕のコメディア・リリカ『ファルスタッフ』[台本]アッリーゴ・ボーイト[原作]ウィリアム・シェイクスピアの喜劇『ウィンザーの陽気な女房たち』及び戯曲『ヘンリー四世』[演出]ダミアノ・ミキエレット[装置]パオロ・ファンティン[衣裳]カルラ・テータイ[照明]アレクサンドロ・カルレッティ[ビデオ制作]ロカフィルム[指揮]ズービン・メータ[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、フィルハーモニア・コア・ウィーン[合唱指揮]ヴァルター・ツェー</p> <p>[収録]2013年8月モーツァルト・ハウス（ザルツブルク）「ザルツブルク音楽祭2013」[映像監督]カリーナ・フィビッヒ</p> <p>■字幕/全3幕：約2時間14分</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ウィーン国立歌劇場2013『西部の娘』	2,8	イケメンテノール、ヨナス・カウフマンの格好良さと力強い歌声！美しいメロディとドラマティックなオーケストラを指揮するのは当時の音楽監督ウェルザー＝メスト。	<p>[出演]ニーナ・シュテンメ（ミニ／ソプラノ）ヨナス・カウフマン（ディック・ジョンソン（実は盗賊団首領ラメス）／テノール）トマス・コエチューニ（保安官ジャック・ランス／バリトン）ノルベルト・エルンスト（ニック／テノール）パオロ・ルメツ（アシュビー／バス）ボアス・ダニエル（ソノーラ／バリトン）ミヒャエル・ロイダー（トゥリン／テノール）ハンス・ペーター・カンメラー（シッド／バリトン）ヤン・テジュン（ベッコ／バリトン）ペーター・イエロジツツ（ハリ／テノール）カルロス・オスナ（ジョー／テノール）クレメンス・ウンターライナー（ハッピー／バリトン）イル・ホン（ラーケズ／バス）パク・ジョンミン（ビリー・ジャックラビット／バス）ジュリエット・マース（ワークル／メゾ・ソプラノ）アレッシオ・アルドゥイーニ（ジェイク・ウォーレス、ホセ・カストロ／バリトン）ヴォルフラム・イゴール・デルンツル（郵便屋／テノール）</p> <p>[演目]ジャコモ・プッチーニ：3幕のオペラ『西部の娘』[台本]グエルフォ・チヴィーニ&カルロ・ザンガリーニ[原作]デイヴィッド・ベラスコの舞台劇『黄金の西部の娘』[演出・装置・照明]マルコ・アルトゥーロ・マレリ[衣裳]ダグマール・ニーフィンド[指揮]フランツ・ウェルザー＝メスト[演奏]ウィーン国立歌劇場管弦楽団及び同合唱団[合唱指揮]トーマス・ラング[収録]2013年10月ウィーン国立歌劇場[映像監督]フェリックス・プライザハ</p> <p>■字幕／全3幕：約2時間20分</p>
ロシア・オペラ・フェスティバル2010『デメトリオとポリビオ』	15,2 2	聖地ペーザロで復活したロシアのオペラ処女作！のちのロシアにらしさも随所に感じられるフレッシュな作品の貴重な上演機会。幻想的な炎の演出が彩る。	<p>[出演]マリア・ホセ・モレーノ（リジガ／ソプラノ）ヴィクトリア・ザイツェヴァ（デメトリオ（シヴェーノ）／メゾ・ソプラノ）石倚潔<シー・イージェ>（デメトリオ（エウメーネ）／テノール）ミルコ・バラツィ（ポリビオ／バス）</p> <p>[演目]ジョアキーノ・ロシアニ：2幕のドラマ・セリオ『デメトリオとポリビオ』（ダニエーレ・カルニニ校訂版）[台本]ヴィンチェンツィーナ・ヴィガノー・モンベッリ[演出]ダヴィデ・リヴェルモレー[装置&衣裳]アカデミア・ディ・ベッレ・アルティ・ディ・ウルビーノ[照明]ニコラス・ボヴェイ[指揮]コッラード・ロヴァリス[演奏]ロシア交響楽団、プラハ室内合唱団、ジャンニ・ファブリーニ（フォルテピアノ）アンドレア・アゴスティネッリ（通奏低音チェロ）[合唱指揮]リュボミール・マートル[収録]2010年8月10日テアトロ・ロシアニ（ペーザロ）「ロシア・オペラ・フェスティバル2010」[映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ</p> <p>■字幕／全2幕：約1時間58分</p>
ザルツブルク音楽祭2018『サロメ』	10,1 1,12 ,13, 14,1 6,22	闇の中に曖昧に浮かぶ登場人物たち。観る者を刺激し挑発するような、「舞台上の魔術師」カステルッチの手強い演出。新星ギリゴリアンの歌うサロメが圧倒的！	<p>[出演]アスミク・ギリゴリアン（サロメ／ソプラノ）ジョン・ダズザック（ヘロデ王／テノール）アンナ・マリア・キウーリ（ヘロディアス／アルト）ガボール・プレツ（ヨカーン／バス）ユリアン・プレガルディエン（ナラポート／テノール）エイヴリー・アムロー（ヘロディアスの小姓／アルト）マテウス・シュミットレヒナー（ユダヤ人1／テノール）マティアス・フレイ（ユダヤ人2／テノール）パトリック・フォーゲル（ユダヤ人3／テノール）イェルク・シュナイダー（ユダヤ人4、奴隷／テノール）ダヴィッド・シュテッフェンス（ユダヤ人5／バス）ティルマン・レンネベック（ナザレ人1／バス）パヴェル・トロヤク（ナザレ人2／バリトン）ネヴェン・クルニッチ（カッパドキア人／バス）ヘニング・フォン・シュールマン（兵士1／バス）ダジョン・バートン（兵士2／バス・バリトン）</p> <p>[演目]リチャルト・シュトラウス：1幕の楽劇『サロメ』[台本]オスカー・ワイルドの戯曲『サロメ』（ハートヴィヒ・ラハマンのドイツ語訳）[演出・装置・衣裳・照明]ロメオ・カステルッチ[振付]シンディ・ヴァン・アッカー[指揮]フランツ・ウェルザー＝メスト[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団[収録]2018年7月28日フェルゼンライトシュレ（ザルツブルク）「ザルツブルク音楽祭2018」[映像監督]ヘニング・カステン</p> <p>■字幕／全1幕：約1時間59分</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ザルツブルク音楽祭2018『魔笛』	24,2 5,26 ,27, 28,3 0	サーカス小屋に捕らえられたパミーナを救え！名作に新たな世界観を構築した注目の演出。今大注目のギリシャ人指揮者コンスタンティノス・カリディスの音楽を観る！	<p>[出演]クラウス・マリア・ブランドウアー（おじいさん（語り手）／俳優）ウィーン少年合唱団（3人の孫、3人の童子）マウロ・ペーター（タミーノ／テノール）クリスティアーネ・カルク（パミーナ／ソプラノ）マティアス・ゲルネ（ザラストロ／バリトン）エマ・ポスマン（夜の女王／ソプラノ）アダム・プラチェトカ（パパゲーノ／バス・バリトン）マリア・ナザーロヴァ（パパゲーナ／ソプラノ）イルゼ・エーレンス（侍女1／ソプラノ）ポーラ・マリヒー（侍女2／メゾ・ソプラノ）ジュヌヴィエーヴ・キング（侍女3／メゾ・ソプラノ）マイケル・ポーター（モノスタス／テノール）タレク・ナズミ（弁者、僧侶1、鎧をつけた男2／バス）シモン・ボーデ（僧侶2、鎧をつけた男1／テノール）ブリギット・リナウアー（老パパゲーナ／俳優）</p> <p>[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：2幕のジグシュピール『魔笛』K.620[台本]エマヌエル・シカネーダー[脚本]イナ・カール&リディア・スタイアー[演出]リディア・スタイアー[装置]カタリーナ・シュリッパ[衣裳]ウルスラ・クドルナ[照明]オラフ・フレーゼ[ビデオ]フェットフィルム[ドラマトルギー]イナ・カール[指揮]コンスタンティノス・カリディス[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場合唱団、ソフィア・タムヴァコポール（ハンマークラヴィーア&オルガン）アンドレアス・スクーラス（チェンバロ）[合唱指揮]エルンスト・ラッフエルスベルガー [ウィーン少年合唱団指導]エラスムス・バウムガルトナー [収録] 2018年8月4日ザルツブルク祝祭大劇場「ザルツブルク音楽祭2018」[映像監督]ミハエル・ベイヤー</p> <p>■字幕／全2幕：約2時間30分</p>
カールスルーエ・ヘンデル音楽祭2017『アルミニオ』	1	カウンターテナーのスーパースター、ツェンチッチが演出したヘンデルの知られざる傑作オペラ。音楽に寄り添った自然な演出が光る。もちろんツェンチッチの絶唱も！	<p>[出演]マックス・エマヌエル・ツェンチッチ（アルミニオ／カウンターテナー）ローレン・スヌーファー（トウスネルダ／ソプラノ）パヴェル・クディノフ（セジェステ／バス）ファン・サンチョ（ヴァーロ／テノール）アレクサンドラ・クバス＝クルク（シジスモンド／ソプラノ）ガイア・ベトロネ（ラミーゼ／メゾ・ソプラノ）オーウェン・ワイレッツ（トゥリオ／カウンターテナー）</p> <p>[演目]ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル：3幕の歌劇『アルミニオ』HWV.36[台本]アントニオ・サルヴィ[原作]ジャン・ガルベール・ド・カンピストロンの悲劇『アルミニウス』[演出]マックス・エマヌエル・ツェンチッチ[装置]ヘルムート・シュテルマー[衣裳]ヘルムート・シュテルマー、コリーナ・グラモステアヌー[照明]ヘルムート・シュテルマー、クリストフ・ヘッカー[ビデオ]エティエンヌ・ギオル、アルノー・ポッティエ[ドラマトルギー]ミハエル・フィヒテンホルツ[指揮]ゲオルク・ベトルー[演奏]アルモニア・アテネア[収録]2017年3月1日カールスルーエ・バーデン州立劇場「第40回カールスルーエ・ヘンデル音楽祭2017」[映像監督]コランタン・ルコント</p> <p>■字幕／全3幕：約2時間50分</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
トリノ王立歌劇場2018『トゥーランドット』	31	補筆部分を排除し、プッチーニの死によって中断されたままの未完版。ノセダのトリノ王立歌劇場音楽監督として最後のフルステージ。鬼オステファノ・ポーダ演出の、白と黒で統一された抽象性の高い舞台も見どころ。	<p>[出演]レベッカ・ロカール（トゥーランドット／ソプラノ）ホルヘ・デ・レオン（カラフ／テノール）エリカ・グリマルディ（リュウ／ソプラノ）シム・インスン（ティムール／バス）アントネッロ・チェロン（皇帝アルトゥム／テノール）マルコ・フィリッポ・ロマーノ（ピン／バリトン）ルカ・カザリン（パン／テノール）ミケルディ・アトクサランダバーソ（ポン／テノール）ロベルト・アッボンダンツァ（役人／バリトン）ジョシュア・サンダース（ペルシャの王子／テノール）サブリーナ・アメ（第1の小間使い／ソプラノ）マヌエラ・ジャコモニ（第2の小間使い／ソプラノ）</p> <p>[演目]ジャコモ・プッチーニ：3幕4場のドラマ・リーリコ『トゥーランドット』（オリジナルの未完バージョン）[台本]ジュゼッペ・アダーミ&レナート・シモーニ[原作]カルロ・ゴツツィの御伽噺風戯曲『トゥーランドット』[演出・装置・衣裳・振付・照明]ステファノ・ポーダ[指揮]ジャンドレア・ノセダ[演奏]トリノ王立歌劇場管弦楽団及び同合唱団、同児童合唱団、トリノ・ジュゼッペ・ヴェルディ音楽院児童合唱団[合唱指揮]クラウディオ・フェノグリオ[収録]2018年1月18日&20日トリノ王立歌劇場[映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ</p> <p>■字幕／全3幕：約1時間56分</p>
デュメストル&ル・ポエム・アルモニーク2017『カリギュラ』	17,18,19,20	ヴァンサン・デュメストル率いるフランスの古楽アンサンブル「ル・ポエム・アルモニーク」がシチリアの伝統操り人形とのコラボレーションで17世紀の作曲家パリアルディの歴史に埋もれたオペラを蘇らせる。	<p>[出演]ヤン・ファン・エルザッカー（ローマ皇帝カリギュラ／テノール）カロリーヌ・マンガ（カリギュラの妻チェソニア／メゾ・ソプラノ）フローリアン・ゲッツ（パルティア王アルタバーノ&執政官ドミーテオ／バリトン）ジャン＝フランソワ・ロンパール（モーリタニア王ティグラネ&ドミーテオの息子クラウディオ／オートコントル）ソフィー・ユンカー（ティグラネの妻テオセーナ／ソプラノ）セルジュ・グビウ（テオセーナの乳母ジェルサ&チェソニアの召使いネスポ／テノール）</p> <p>[演目]ジョヴァンニ・マリア・パリアルディ：3幕のオペラ『カリギュラ』[台本]ドメニコ・ジスベルティ[翻案&編曲]ヴァンサン・デュメストル[演出&マリオンネット]ミンモ・クティッキオ、アレクサンドラ・リュブナー[マリオンネット]フィリッポ・ヴェルナ＝クティッキオ、クレール・ラバン、シルヴァン・ジュレ[背景画]イゾール・ド・ボヴァル[照明]パトリック・ナイエ[指揮&テオルポ]ヴァンサン・デュメストル[演奏]ル・ポエム・アルモニーク[収録]2017年4月27日タンデム国立舞台「ドゥエ」（アラス、フランス）[映像監督]ジャン＝ピエール・ロワジル</p> <p>■字幕／全3幕：約1時間24分</p>
クリスティのヘンデル『テオドーラ』	28,30,31	ヘンデル自身が誇りを持って傑作と自認した名曲。古楽界の王様ウィリアム・クリスティが、充実のキャストと手兵レザール・フロリサンを率いて、満を持しての舞台上演！	<p>[出演]キャサリン・ワトソン（テオドーラ／ソプラノ）フィリップ・ジャルスキー（ディディムス／カウンターテナー）ステファニー・ドゥストラック（イレネ／メゾ・ソプラノ）クレシミール・スパイサー（セプティミウス／テノール）キャラム・ソープ（ヴァレンス／バス）ショーン・クレイトン（使者／テノール）</p> <p>[演目]ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル：3部のオラトリオ『テオドーラ』HWV.68[台本]トマス・モレル[原作]ロバート・ポイルの小説『テオドーラとディディムスの殉教』[演出]スティーブ・ラングリッジ[振付]フィリップ・ジロド[装置&衣裳]アリソン・チッティ[照明]ファブリス・ケプーレ[指揮]ウィリアム・クリスティ[演奏]レザール・フロリサン（合唱&管弦楽）[収録]2015年10月13日&16日シャゼリゼ劇場（パリ）[映像監督]オリヴィエ・シモネ</p> <p>■字幕／全3部：約3時間5分</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ベルゴレージ・スポンティーニ・フェスティバル2011『恋に陥った兄と妹』	1	モーツァルトやロッシーニに影響を与えたオペラ喜劇の原点。ピオンディ率いるエウローパ・ガランテの古楽が鮮やかなベルゴレージの知られざる傑作。	<p>[出演]ニコラ・アライモ (マルカニエッロ/バリトン) エレーナ・ベルフィオーレ (アスカニオ/メゾ・ソプラノ) パトリツィア・ピッチーレ (ネーナ/ソプラノ) ユルギータ・アダモニテ (ニーナ/メゾ・ソプラノ) バルバラ・ディ・カストリ (ルググレツィア/メゾ・ソプラノ) ダヴィド・アレグレット (カルロ/テノール) ラウラ・ケリーチ (ヴァンネツラ/ソプラノ) ローザ・ボーヴェ (カルデッラ/メゾ・ソプラノ) フィリッポ・モラーチェ (ドン・ピエトロ/バス)</p> <p>[演目]ジョヴァンニ・パツィスタ・ベルゴレージ: 3幕のコンメディア・ペル・ムジカ『恋に陥った兄と妹』(フランチェスコ・デグラダ校訂によるクリティカル・エディション) [台本]ジェンナラントニオ・フェデリコ [演出&装置]ウイリー・ランディン [衣裳]エレナ・チコレツァ [照明]ファブリツィオ・ゴッビ [指揮&ヴァイオリン、ヴィオラ・ダモーレ]ファビオ・ピオンディ [演奏]エウローパ・ガランテ [収録]2011年9月30日 & 10月2日テアトロ・ベルゴレージ (イエーシ、イタリア・マルケ州) 「ベルゴレージ・スポンティーニ・フェスティバル2011」 [映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ</p> <p>■字幕/全3幕: 約2時間41分</p>
モーツァルト週間2019『タモス』	8	人気テノール、ピリヤソンが芸術監督に就任したザルツブルクの「モーツァルト週間」。やる気満々の新監督が、スペインの「ラ・フラ」とともに贈る新しいモーツァルト！	<p>[出演] ルネ・パーペ (メーネス王/バス) ファトマ・サイド (タルシス/ソプラノ) ヌッタボン・タマーティ (ターモス/テノール) パスティアン・トーマス・コール (僧/バス) ジルケ・レッドハマー (ミリス/メゾ・ソプラノ)</p> <p>[演目] ターモス〜モーツァルト『エジプトの王ターモス』K.345にもとづく (全3部) [演出] カルルス・パドリツァ [舞台美術] ローランド・オルベーター [衣裳] チュー・ウロース [映像・照明] フランク・アルー [アクロバット振付] ギャビー・バルベリオ [特殊効果] トーマス・パウテンバッハー [作詞] アリシア・アツァ [音楽] ウルベス・カバプロ [ドラマツルグ] イヴォンヌ・グバウアー [指揮] アロンドラ・デ・ラ・パーラ [演奏] カメラータ・ザルツブルク、ザルツブルク・バッハ合唱団 [合唱指揮] アロイス・グラスナー [収録] 2019年フェルゼンライトシュレ (ザルツブルク) [映像監督] ティツィアーノ・マンチーニ</p>
大野和士の『炎の天使』2018	21,2 3,24 ,25, 26,2 7,28	悪霊に取り憑かれた美しい女を救えるのか!? 大野和士が指揮した2018年エクサン=プロヴァンス音楽祭の注目公演。これが大野の「宿命のオペラ」だ。	<p>[演目] セルゲイ・プロコフィエフ: 歌劇『炎の天使』(全5幕7場)</p> <p>[指揮] 大野和士 [演出] マリウス・トレリンスキ [舞台] ボリス・クドリツカ [衣裳] ガスパール・グラールナー</p> <p>[照明] フェリーチェ・ロース [映像] バルテク・マチアス [振付] トマシュ・ウイゴダ</p> <p>[出演] アウシュリネ・ストウンディーテ (レナータ/ソプラノ) スコット・ヘンドリクス (ルブレヒト/バリトン) アグニエシカ・レーリス (占い師、幻影/メゾ・ソプラノ) アンドレイ・ポポフ (メフィストフェレス、アグリッパ・フォン・ネットスハイム/テノール) クシシュトフ・パチク (ファウスト、アンリ (ハインリヒ) 伯爵、異端審問官/バス) パヴロ・トルストイ (ヤコブ・グロック、医者/テノール) ルーカシュ・ゴリンスキ (マトフェイ・ヴィスマン、ホテルの主人、第二のヤコブ・グロック、使用人/バリトン) ベルナデッタ・グラビアス (ホテルの女主人/メゾ・ソプラノ) ポジエナ・ブイニツカ (修道女1/ソプラノ) マリア・スタシアク (修道女2/ソプラノ)</p> <p>[管弦楽] パリ管弦楽団 [合唱] ワルシャワ・オペラ合唱団</p> <p>[収録] 2018年7月15日、エクサン=プロヴァンス、プロヴァンス大劇場 (エクサン=プロヴァンス音楽祭、ライブ) [映像監督] フィリップ・ベジヤ</p> <p>■字幕/2時間15分 (番組枠)</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
TUTTO VERDI #9『アッティラ』	1	23歳のアンドレア・バッティストーニがヴェルディの故郷ブッセートでヴェルディ初期のオペラを指揮した、2010年ヴェルディ・フェスティバル公演。	<p>[出演]ジョヴァンニ・バッティスタ・パローディ (アッティラ/バス) スザンナ・ブランキーニ (オダベッラ/ソプラノ) ロベルト・デ・ビアージョ (フォレスト/テノール) セバステアーン・カターナ (エツィオ/バリトン) クリステアアーノ・クレモニーニ (ウルディーノ/テノール) ジアン・アトフェ (レオーネ/バス)</p> <p>[演目]ジュゼッペ・ヴェルディ: プロローグと3幕のドラマ・リーリコ『アッティラ』[台本]テミストークレ・ソレーラ、フランチェスコ・マリア・ピアヴェ[原作]ツァハリアス・ヴェルナーの戯曲『フン族の王アッティラ』[演出]ピエルフランチェスコ・マエストリーニ[装置&衣裳]カルロ・サーヴィ[照明]ブルーノ・チュッリ[指揮]アンドレア・バッティストーニ[演奏]パルマ王立歌劇場管弦楽団及び同合唱団[合唱指揮]マルティーノ・ファッジャーニ[収録]2010年10月ヴェルディ劇場(ブッセート) [映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ</p> <p>■字幕/プロローグ&全3幕:約2時間</p>
ゼッフィレッリの映画『カヴァレリア・ルスティカーナ』	1,5	シチリアの山間部を舞台に、貧しい人々の暮らしと、三角関係のもつれから起きる決闘と殺人…。マスカーニの代表作であると同時に、イタリア・ヴェリズモ・オペラの最高傑作としても名高い『カヴァレリア・ルスティカーナ』を、『ロミオとジュリエット』『永遠のマリア・カラス』などの名匠フランコ・ゼッフィレッリが映画化。	<p>[出演]エレナ・オプラスツォワ (サントウツァ/メゾ・ソプラノ) ブラシド・ドミンゴ (トゥリッドゥ/テノール) レナート・ブルゾン (アルフィオ/バリトン) フェドーラ・バルビエリ (ルチア/メゾ・ソプラノ)</p> <p>[演目]ピエトロ・マスカーニ: 1幕のメロドラマ『カヴァレリア・ルスティカーナ』[台本]ジョヴァンニ・タルジオーニ=トツツェッティ、グイード・メナッシ[原作]ジョヴァンニ・ヴェルガの同名小説とそれに基づく同人による戯曲『カヴァレリア・ルスティカーナ』</p> <p>[監督]フランコ・ゼッフィレッリ[装置]ジャンニ・クランタ[衣裳]アンナ・アンニ</p> <p>[指揮]ジョルジュ・プレートル[演奏]ミラノ・スカラ座管弦楽団及び同合唱団[合唱指揮]ロマーノ・ガンドルフィ</p> <p>[制作]1982年イタリア・ドイツ映画</p> <p>■字幕/全1幕(映画版):約1時間11分</p>
コンサート			
フローレス「モーツァルトのオペラ・アリアを歌う」	2,3,4,5	史上最高のベルカント・テノールのモーツァルト初挑戦。モーツァルトゆかりの美しい劇場に響きわたる、情感豊かで強い説得力を持ったアリアの数々。	<p>[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト: 歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』K.588～フェランドのアリア「愛の息吹き」、歌劇『牧人の王 (羊飼いの王様)』K.208～アレクサンドロのアリア「陽の輝きの前に」、歌劇『ドン・ジョヴァンニ』K.527～序曲/ドン・オッターヴィオのアリア「あのひとの安らぎは私の安らぎ」「私の大切な人を慰めて」、歌劇『フィガロの結婚』K.492～序曲、歌劇『後宮からの逃走』K.384～ベルモンテのアリア「わたしはおまえの強さを信じ」、レチタティーヴォとアリア「あわれ、お夢よ! / 息吹くそよ風」K.431 (425b)、歌劇『皇帝ティートの慈悲』K.621～序曲/ティートのアリア「もしも帝国に、友なる神々よ」、歌劇『クレタの王イドメネオ』K.366～序曲、歌劇『魔笛』K.620～タミーノのアリア「なんと美しい絵姿」、歌劇『クレタの王イドメネオ』K.366～イドメネオのアリア「海から逃れたが」[指揮]リカルド・ミナーシ[演奏]チューリヒ歌劇場「ラ・シンティッラ」、ファン・ディエゴ・フローレス (テノール) [収録]2017年11月17日レジデント宮殿「キュヴリエ劇場」(ミュンヘン) [映像監督]ハンス・ハドゥラ</p> <p>■約1時間15分</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ペンデレツキ・コンダクツ・ペンデレツキ『イェルサレムの7つの門』	2,3,4,5,6	ペンデレツキ自作自演による圧倒的スケールの宗教作品。イェルサレム建都3000年を祝し、5人のソリストと3群の混声合唱が歌い上げる、旧約聖書の救世主降臨の預言。	[演目]イシャ・クレイチー：管弦楽のためのセレナード、クシシュトフ・ペンデレツキ：交響曲第7番『イェルサレムの7つの門』[指揮]クシシュトフ・ペンデレツキ、マチエイ・トヴォレク[演奏]プラハ放送交響楽団、スロヴァキア・フィルハーモニー合唱団、イヴォナ・ホツサ（ソプラノ）カローリーナ・シコラ（ソプラノ）アンナ・ルバンスカ（メゾ・ソプラノ）アダム・ズニコウスキ（テノール）ピョートル・ノヴァツキ（バス）スワヴォミル・ホランド（語り）[合唱指揮]ヨゼフ・ハプロ[収録]2017年6月2日スメタナホール（プラハ）「第72回プラハの春音楽祭」[映像監督]アダム・レゼク&ソニア・パラモ ■字幕／約1時間31分
ムターのモーツァルト『ヴァイオリン協奏曲第5番』	1	2006年のモーツァルト生誕250年と自身のデビュー30周年を記念し、"ヴァイオリンの女王"アンネ=ゾフィー・ムターが弾き振したモーツァルトのヴァイオリン協奏曲第5番。「モーツァルトは自分の成長に欠かせない作曲家であり、私のキャリアの節目には必ずモーツァルトがいる」と語る彼女の艶やかなヴァイオリンはもちろん、カデンツァに19世紀の大ヴァイオリニスト、ヨーゼフ・ヨアヒムのバージョンをオッシブ・シュニルリンが改訂したバージョンを演奏しているのも音楽ファンには見どころ。	[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調K.219『トルコ風』（カデンツァ：ヨーゼフ・ヨアヒム～オッシブ・シュニルリンによるニューバージョン） [ヴァイオリン&指揮]アンネ=ゾフィー・ムター[演奏]カメラータ・ザルツブルク [収録]2005年12月3日～6日ザルツブルク大学大講堂[映像監督]アンディ・ゾマー ■約32分
ティーレマン『アドヴェント・コンサート2011』	8	世界最古のオーケストラ、シュターツカペレ・ドレスデンによる毎年恒例のアドヴェント・コンサート。アドヴェント（待降節）とはクリスマスの4週間前の日曜日から24日までの期間のことで、キリスト教においてイエス・キリストの第一の来臨（降臨）と第二の来臨（再臨）を祝う大切な行事となっている。今ヨーロッパで最も旬のカリスマ指揮者ティーレマンが宗教曲を演奏するのは大変珍しく、ドイツだけで150万人が視聴し話題となった。ドイツ随一の美しさを誇るドレスデン・フラウエン教会と豊かな合唱、清々しいオーケストラに注目。	[演目] アントニオ・ヴィヴァルディ：グローリア 二長調RV.589～第1曲「天のいと高きところに神の栄光」、ヨハン・セバスティアン・バッハ：カンタータ第147「心と口と行いと生きざまもて」BWV.147～第9曲「私はイエスの不思議な御業を歌おう」第10曲「主よ人の望みの喜びよ」／マニフィカト 二長調BWV.243～第1曲「わたしの魂は主をあがめ」第2曲「私の霊は救い主である」、ゲオルク・フィリップ・テレマン：協奏曲二長調、ヨハン・セバスティアン・バッハ：カンタータ第29番『神よ、我ら汝に感謝す』BWV.29～第1曲「シンフォニア」、アントニオ・ヴィヴァルディ：グローリア 二長調RV.589～第10曲「御父の右に座りたもう者よ」第7曲「ひとり子である主」、ヨハン・ダーフィット・ハイニヒェン：降誕祭の夜のためのパストラール、ヨハン・セバスティアン・バッハ：ミサ曲短調BWV.232～「我は信ず、主なる聖霊」「聖なるかな」／クリスマス・オラトリオBWV.248～「歓喜の声を放て、喜び踊れ」 [指揮]クリスティアン・ティーレマン[演奏]シュターツカペレ・ドレスデン及び同合唱団、ソフィー・コッシュ（メゾ・ソプラノ）トーマス・ハンブソン（バリトン）サミュエル・クンマー（オルガン）[合唱指揮]バプロ・アサンテ [収録]2011年11月26日フラウエン教会（ドレスデン）[映像監督]エリーザベト・マルツァー ■字幕／約1時間7分
ダウスゴー & デンマーク国立響『ブラームス：交響曲第1番』	4,5,6,9,10	デンマーク国立交響楽団のプロジェクト「交響曲の夏」よりブラームスの交響曲第1番。オーケストラの柔らかな暖かみのある音色と、豊田泰久が音響設計した新ホールの美しい内装も見どころ。	[演目]ヨハネス・ブラームス：交響曲第1番八短調Op.68[指揮]トーマス・ダウスゴー[演奏]デンマーク国立交響楽団[収録]2009年6月13日DRコンサートホール（コペンハーゲン）「交響曲の夏」[映像監督]アルネ・ラスムッセン ■約50分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ダウスゴー & デンマーク国立響『シベリウス：交響曲第5番』	14,2 0,22 ,23, 24,2 5,26	コペンハーゲンに本拠を置くデンマーク国立交響楽団のオーケストラプロジェクト「交響曲の夏」より、シベリウスの50歳を祝う記念演奏会で初演された作品。	[演目]ジャン・シベリウス：交響曲第5番変ホ長調Op.82[指揮]トーマス・ダウスゴー[演奏]デンマーク国立交響楽団[収録]2009年6月17日DRコンサートホール（コペンハーゲン）「交響曲の夏」[映像監督]ウッフェ・ボルクヴァルト ■約36分
ムターのブラームス『ヴァイオリン・ソナタ全集』	2,3, 5,8	幼少期にカラヤンにその才能を見出され、「ヴァイオリンの女王」の名を欲しいままにしてきたアンネ＝ゾフィー・ムターによるブラームスのヴァイオリン・ソナタ全3曲。ブラームスのソナタは、ムターが音楽家として歩み始めた初期の時代から現在に至るまで、彼女にとって常にレパートリーを中心となってきたもの。	[演目]ヨハネス・ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調Op.100／ヴァイオリン・ソナタ第1番ト長調Op.78『雨の歌』／ヴァイオリン・ソナタ第3番ニ短調Op.108 [ヴァイオリン]アンネ＝ゾフィー・ムター[ピアノ]ランバート・オーキス [収録]2009年12月3日 & 4日ピリオテークザール（ボリング、バイエルン州オーバーバイエルン行政区ヴァイルハイム＝ショーンガウ郡） [映像監督]アグネス・メス ■約1時間16分
ティーレマンの『ミサ・ソレムニス』	27,2 8,30 ,31	ベートーヴェンの自筆譜に「願わくば心より出で、心へと伝わらんことを」と記され、平和を願う作品として知られる『ミサ・ソレムニス（荘厳ミサ曲）』。この番組は、2010年2月に行われたドレスデン爆撃戦没者追悼演奏会のライブ収録。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ミサ・ソレムニス 二長調Op.123 [指揮]クリスティアン・ティーレマン [演奏]シュターツカペレ・ドレスデン及び同合唱団、クラッシミラ・ストヤノヴァ（ソプラノ） エリーナ・ガランチャ（メゾソプラノ） ミハエル・シャーデ（テナー） フランツ＝ヨゼフ・ゼーリヒ（バリトン） マティアス・ヴォロンク（ヴァイオリン・ソロ） [合唱監督]パブロ・アサンテ [収録]2010年2月13日 & 14日ゼンパーオーバー（ドレスデン） [映像監督]ミハエル・バイヤー ■字幕／約1時間29分
ヤンソンス & ウィーン・フィル「ザルツブルク音楽祭2012」	29,3 0,31 ,	2012年ウィーン・フィル・ニューイヤー・コンサートが記憶に新しいマリス・ヤンソンスとウィーン・フィル。2012年に共演20周年を迎えた彼らの相性抜群のコンビネーションが冴えわたるザルツブルク音楽祭でのコンサート。	[演目]リチャルト・シュトラウス：交響詩『ドン・ファン』Op.20、リチャルト・ワーグナー：ヴェーゼンドクの5つの歌（フェリックス・モッティ編曲によるオーケストラ版）～第1曲「天使」第2曲「生まれ」第3曲「温室で」第4曲「悩み」第5曲「夢」（マティルデ・ヴェーゼンドク詩）、ヨハネス・ブラームス：交響曲第1番ハ短調Op.68[指揮]マリス・ヤンソンス[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ニーナ・シュテンメ（ソプラノ） [収録]2012年8月5日ザルツブルク祝祭大劇場[映像監督]ブライアン・ラージ ■字幕／約1時間36分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ティーレマン『アドヴェント・コンサート2012』	5,6,9,10,11,28	フラウエン（聖母）教会で行われるシュターツカペレ・ドレスデン毎年恒例のアドヴェント。同楽団首席指揮者に就任したばかりのティーレマンはクリスマスの宗教曲を振っても素晴らしい。	[演目]ヨハン・セバスティアン・バッハ：管弦楽組曲第4番BWV.1069～レジュイサンス、ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル：オラトリオ『メサイア』HWV.56～「すべての谷は埋め立てられ」「このようにして主の栄光が現されると」、ヴィルヘルム・キーンツル：クリスマス（ヨアヒム・ドラハイムによるオーケストレーション）、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：ミサ曲ハ短調K.427～「天のいと高きところには神に栄光」「主を讃えまつれ」、アントン・ブルックナー：モテット『ロクス・イステ（この場所は神が作りたもうた）』、ジュール・マスネ：タイスの瞑想曲、フェリックス・メンデルスゾーン＝バルトルディ：クリスマス・カンタータ『高き天より我は来たり』、エンゲルベルト・フンパーディンク：歌劇『ヘンゼルとグレーテル』～タバの祈り／夢のパントマイム、シャルル・フランソワ・グノー：聖チェチリア荘厳ミサ曲～聖なるかな、ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル：オラトリオ『メサイア』HWV.56～ハレルヤ・コーラス[指揮]クリスティアン・ティーレマン[演奏]シュターツカペレ・ドレスデン及び同合唱団、ジュリアン・バンセ（ソプラノ）エリーザベト・クールマン（メゾ・ソプラノ）ベンジャミン・ブリュンス（テノール）リサ・パティアシュヴィリ（ヴァイオリン）[収録]2011年11月26日フラウエン教会（ドレスデン）[映像監督]エリーザベト・マルツァー ■字幕／約1時間1分
チェコ・フィルのドヴォルザーク『交響曲第5番』	31	楽団員の99%がチェコ人であるチェコ・フィルと、2012年に20年ぶりに首席指揮者として同楽団に戻ってきたチェコ人指揮者イルジー・ビエロフラーヴェクによる、21世紀新時代の「ドヴォルザーク交響曲全集」。有名な第7番、第8番、第9番『新世界より』以外にも、ドヴォルザークの交響曲にはこんなに隠れた名曲が存在していたのです。収録はチェコ・フィル本拠地ドヴォルザーク・ホール。	[演目]アントニン・ドヴォルザーク：交響曲第5番ヘ長調Op.76,B.54 [指揮]イルジー・ビエロフラーヴェク [演奏]チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 [収録]2012年12月13日「ルドルフィヌム」内ドヴォルザーク・ホール（プラハ） [映像監督]アダム・レゼク ■約47分
ヤンソンス「オデオンスプラッツ・コンサート2014」	12,13,14,16,17,18,19,22,	第二次世界大戦終結直後からドイツ各地で放送局自前のオーケストラの設立ラッシュが始まり、バイエルン放送交響楽団は1949年に設立されました。戦後設立という比較的歴史が浅い楽団ながら、現在ドイツのみならず世界を代表するオーケストラとして高い評価を受けています。この番組は、今やミュンヘン夏の風物詩となったバイエルン放送響の毎シーズン最後を飾るオデオンスプラッツ（オデオン広場）の野外コンサート。	[演目]ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：イタリア奇想曲Op.45、アレクサンドル・チャイコフスキー：ガーデン・シンフォニーOp.101（世界初演）、アレクサンドル・ボロディン（エフゲニー・ベトロフ編曲）：歌劇『イーゴリ公』～ポロヴェツツ人の踊り、ニコライ・リムスキー＝コルサコフ（エフゲニー・ベトロフ編曲）：歌劇『見えざる町キーテジと聖女フェヴローニヤの物語』～ケルネシエツの戦い、エフゲニー・ベトロフ：2台のコントラバスのための音楽試合『セレナード』（テレム・カルテットとオーケストラのための編曲版）、ヨハン・セバスティアン・バッハ（テレム・カルテット編曲）：トッカータとフーガ 二短調BWV.565、ドミートリイ・ショスタコーヴィチ：祝典序曲Op.96、アラム・ハチャトゥリアン：パレエ『スパルタクス』～スパルタクスとフリーギアのアダージョ／パレエ『ガイーヌ』～剣の舞、ニコライ・リムスキー＝コルサコフ：スペイン奇想曲Op.34、アレクサンドル・グラズノフ：パレエ『ライモンダ』Op.57～スペイン舞曲、エフゲニー・ベトロフ編曲：Steppe, Oh, Steppe all around !、テレム・カルテット&エフゲニー・ベトロフ編曲：サンクトペテルブルクの2つのキャラクターダンス、作曲者不詳（テレム・カルテット編曲）：ノミのワルツ（猫ふんじやった） [指揮]マリス・ヤンソンス[演奏]バイエルン放送交響楽団、テレム・カルテット（ソプラノ・ドムラ：アンドレイ・コンスタンチーフ、アルト・ドムラ：アレクセイ・バルショフ、バヤン：アンドレイ・スミルノフ、コントラバラリカ：ミハイル・ジューゼ）ハインリヒ・ブラウン（コントラバス） [収録]2014年7月6日オデオンスプラッツ（ミュンヘン）「オデオンスプラッツ・コンサート2014」[映像監督]ミハ

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ヤンソンス&バイエルン放送響『革命』in ブエノスアイレス	19,2 0,21 ,23, 24,2 5,26 ,29,	2014年5月のバイエルン放送交響楽団アメリカ大陸ツアーは南米アルゼンチンのブエノスアイレスから始まりました。この番組はその初日、コロソ劇場をソールドアウトにした首席指揮者マリス・ヤンソンスによるショスタコーヴィチの交響曲第5番『革命』です。	[演目]ドミトリー・ショスタコーヴィチ：交響曲第5番ニ短調Op.47『革命』/歌劇『ムツェンスク郡のマクベス夫人』～間奏曲 [指揮]マリス・ヤンソンス[演奏]バイエルン放送交響楽団 [収録]2014年5月7日コロソ劇場（ブエノスアイレス） [映像監督]ミハエル・ベイヤー ■約55分
ハイティンク&バイエルン放送響『ミサ・ソレムニス』	20,2 1,23 ,24, 25,2 6,27 ,29,	2014年9月にヘラクレスザールで巨匠ベルナルト・ハイティンクがバイエルン放送交響楽団を指揮したベートーヴェンの『ミサ・ソレムニス（荘厳ミサ曲）』。この公演のライブCDは発売当初大評判を呼びましたが、この番組はその映像版です。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ミサ・ソレムニスOp.123（第1曲「キリエ」第2曲「グロリア」第3曲「クレド」第4曲「サンクトゥス」第5曲「アニュス・デイ」）[指揮]ベルナルト・ハイティンク[演奏]バイエルン放送交響楽団及び同合唱団、ゲニア・キューマイアー（ソプラノ）エリーザベト・クールマン（メゾ・ソプラノ）マーク・パドモア（テノール）ハンノ・ミュラー＝ブラッハマン（バス・バリトン）アントン・バラコフスキー（ソロ・ヴァイオリン）[合唱指揮]ペーター・ダイクストラ[収録]2014年9月25日&26日ヘラクレスザール（ミュンヘン）[映像監督]エリーザベト・マルツァー ■字幕／約1時間28分
コンサートヘボウ125周年記念ガラ	1,2, 3,4, 5,6, 7,14 ,15	1888年4月11日に落成したアムステルダムの名ホール「コンサートヘボウ（コンサートホールの意味）」と、ホール完成とほぼ時を同じく設立された専属オーケストラ「ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団」。125周年を迎える2013年4月10日には、退位間近のベアトリクス女王と即位を目前に控えたオラニエ公ご夫妻のご臨席の下、華やかな記念ガラ・コンサートが開催されました。	[演目]リヒャルト・ワーグナー：楽劇『ニルンベルクのマイスタージンガー』～第1幕前奏曲、グスタフ・マーラー：歌曲集『さすらう若人の歌』～第2曲「朝の野を歩けば」/歌曲集『子供の不思議な角笛』～「ラインの伝説」「高い知性への賛美」、セルゲイ・プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第3番ハ長調Op.26～第3楽章、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：弦楽セレナードハ長調Op.48～第3楽章「エレジー」、カミーユ・サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオソニ短調Op.28、リヒャルト・シュトラウス：楽劇『ばらの騎士』Op.59からの音楽[指揮]マリス・ヤンソンス[演奏]ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、トーマス・ハンブソン（バリトン）ラン・ラン（ピアノ）ジャニーヌ・ヤンセン（ヴァイオリン）祝祭アンサンブル・ウィーン・ベルリン・ミュンヘン・アムステルダム[出演]シモン・レイニク（コンサートヘボウ事務局長）ヤン・ラース（ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団事務局長） [収録]2013年4月10日コンサートヘボウ（アムステルダム）[映像監督]ヨースト・ホンセラル ■字幕／約1時間42分
ヤンソンス&バイエルン放送響「パリ・コンサート」2017	5,6, 7,9, 11,1 2,15	フィルハーモニー・ド・パリにヤンソンスとバイエルン放送響が登場。豊かな響きと細やかな表現でオーケストラの響きの粋を聴かせる。	[演目]ウラディミール・ゾンマー：アンティゴネ、グスタフ・マーラー：亡き子をしのぶ歌（第1曲「いま太陽は明るく昇る」第2曲「なぜあんなに暗い炎を」第3曲「おまえのお母さんが部屋に入ってくる時」第4曲「子供たちは外に出かけただけなのだ」第5曲「こんな天気、こんな嵐の日には」フリードリヒ・リュッケルト詩）セルゲイ・ラフマニノフ：交響的舞曲（シンフォニック・ダンス）Op.45、フランツ・ペーター・シュベルト：楽興の時D.780,Op.94～第3番ハ短調、バルトーク・ベラ：組曲『中国の不思議な役人』Op.19,Sz.73～終曲 [指揮]マリス・ヤンソンス[演奏]バイエルン放送交響楽団、ゲルヒルト・ロンベルガー（メゾ・ソプラノ）[収録]2017年1月31日フィルハーモニー・ド・パリ[映像監督]コラン・ローラン ■約1時間32分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
バレンボイム&シュターツカペレ・ベルリン『ブルックナー：交響曲第1番』	2,3,4,5,6,23	バレンボイムとシュターツカペレ・ベルリンの四半世紀にわたる蜜月の集大成とも言えるブルックナー。初期交響曲の初々しい覇気が弾けるダイナミックな演奏！	[曲目] アンTON・ブルックナー：交響曲第1番 八短調 WAB.101 (リンツ版) [指揮] ダニエル・バレンボイム [演奏] シュターツカペレ・ベルリン [映像監督] ジャン＝ピエール・ロワジル [収録] 2017年1月5日、フィルハーモニー・ド・パリ ■約54分
ヤンソンス & バイエルン放送響「バレンボイム75歳を祝して」	26,27,28,30,31	バレンボイムがピアニストとしてミュンヘンに降臨、巨匠の『皇帝』を披露。絶好調のヤンソンスとバイエルン放送響は、プロコフィエフで別格の名演を実現。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番変ホ長調Op.73『皇帝』、クロード・ドビュッシー：ベルガマスク組曲～第3曲「月の光」、セルゲイ・プロコフィエフ：交響曲第5番変ロ長調Op.100 [指揮] マリス・ヤンソンス [演奏] バイエルン放送交響楽団、ダニエル・バレンボイム (ピアノ) [収録] 2017年11月10日 フィルハーモニー (ガスタイク内、ミュンヘン) [映像監督] エリーザベト・マルツァー ■約1時間37分
ジャルスキーが歌うバロック・オペラの世界	24,25,26,27,28,29,30,31	目の覚めるような技巧で聴衆を唸らせるカウンターテナーのスーパースター。イタリア・バロックの知られざる巨匠カルダーラのアリアが現代に甦る！	[演目] アントニオ・カルダーラ：アリア「Contrasto assai pi? degno」(歌劇『テミストークレ』より) / レチタティーヴォ「私はファビオ?」アリア「Troppo? insoffribile」(歌劇『独裁官ルーチョ・パピリオ』より)、ジョヴァンニ・バッティスタ・サンマルティーニ：シンフォニア イ長調第3楽章「プレスト・アッサイ」、アントニオ・カルダーラ：アリア「Non tremar vassallo indegno」(歌劇『テミストークレ』より) / アリア「Tutto fa nocchiero」(歌劇『オーレードのイフィゲニア』より)、アントニオ・ヴィヴァルディ：チェロ協奏曲二短調RV.407～第3楽章「アレグロ」、アントニオ・カルダーラ：アリア「Misero pargoletto」(歌劇『デモフォオンテ』より) / アリア「Lo seguitai felice」(歌劇『オリンピアード』より) / アリア「Vado, o sposa」(歌劇『エノーネ』より) / アリア「O mi rendi il mio bel ch'io spero」(歌劇『スペインのシビオーネ』より) ニコラ・ボルボラ：アリア「いと高きジョーヴェ」(歌劇『ポリフェーモ』より)、アントニオ・カルダーラ：アリア「Se un core annodi」(歌劇『シーロのアキレス』より) [カウンターテナー] フィリップ・ジャルスキー [演奏] コンチェルト・ケルン、ヴェルナー・マツケ (チェロ) [収録] 2010年 プリンツレーゲンテン劇場 (ミュンヘン) [映像監督] クラウス・ヴィシュマン ■字幕 / 1時間5分 (番組枠)
ドゥダメル&ウィーン・フィル2018「アイヴスとチャイコフスキー」	21,23,24,25,26,27	2018年2月のウィーン・フィル定期、関係の深まるドゥダメルの指揮で、アイヴスの交響曲第2番がムジークフェアラインに響きわたる！	[演目] チャールズ・アイヴス：交響曲第2番、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：交響曲第4番へ短調Op.36 [指揮] グスターボ・ドゥダメル [演奏] ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録] 2018年2月17日 & 18日 ムジークフェアラインザール (ウィーン) [映像監督] ディック・カイス ■約1時間25分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
オロスコ=エストラーダ&ウィーン・フィル2018「バーンスタインとブラームス」	6,14 ,22, 29	昇り竜の勢いを見せる、注目若手指揮者の筆頭的存在！南米コロンビア出身ながらウィーンの伝統を熟知した正統的ブラームスが示す、オーケストラとの好相性。	[演目]レナード・バーンスタイン：オペレッタ『キャンディード』～序曲、ヨハネス・ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲変ロ長調Op.56a/交響曲第1番八短調Op.68[指揮]アンドレス・オロスコ=エストラーダ[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団[収録]2018年4月21日&22日ムジークフェラインザール（ウィーン）[映像監督]ディック・カイス ■約1時間19分
エメリヤニチェフ&イル・ボモ・ドーロ「チョーフィが歌うヘンデルのアリア集」	7,9, 10,1 1,12 ,13	女王、魔女、愛人…。ヘンデルのオペラに出てくる女性たちは、運命に抗い、力で復讐を試みる強い女ばかり。彼女たちの愛と生涯を、パトリツィア・チョーフィが歌う名アリアでたっぷりと。 ドイツ南部の都市カールスルーエで1978年から毎年2月23日の作曲家の誕生日前後に開催されている「ヘンデル音楽祭」は、ゲッティンゲンや作曲家の生地ハレの音楽祭と並んで有名なゲオルク・フリードリヒ・ヘンデルの記念フェスティバルです。	[演目]ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル：歌劇『ロデリンダ』HWV.19～ロデリンダのアリア「あなたは死ぬの」/歌劇『アルチーナ』HWV.35～アルチーナのレチタティーヴォとアリア「ああ、酷いルッジェーロ…おぼろな霊よ」/歌劇『ロドリゴ』HWV.5～パッサカリヤ/歌劇『ベルシャの王シロエ』HWV.24～ラオディーチェのアリア「Or mi perdo di speranza」/トリオ・ソナタト長調Op.5-4,HWV.399～第1楽章「アレグロ」第2楽章「ア・テンポ・オルディナリオ…アレグロ・ノン・プレスト」/歌劇『アルチーナ』HWV.35～アルチーナのアリア「ああ私の心よ」/歌劇『ゴールのアマデージ』HWV.11～メリッサのアリア「Vanne lungi dal mio petto」/トリオ・ソナタト長調Op.5-4,HWV.399～第3楽章「パッサカリヤ」第4楽章「ジーク」第5楽章「メヌエット」/歌劇『ジュリオ・チェーザレ』HWV.17～クレオパトラのアリア「私を哀れんでくださなければ」/嵐で壊れた船は」/歌劇『アルチーナ』HWV.35～モルガーナのアリア「帰ってきて、喜ばせて」[指揮&チェンバロ]マキシム・エメリヤニチェフ[演奏]イル・ボモ・ドーロ、パトリツィア・チョーフィ（ソプラノ）[進行役]ドナ・レオン[収録]2017年2月25日キリスト教会（カールスルーエのミュールブルガー門）「第40回カールスルーエ・ヘンデル音楽祭」[映像監督]セバステアン・グラス ■字幕/約1時間31分
ティーレマン&ウィーン・フィル北京公演2013	7,13 ,15, 21,2 9	2013年の中国公演、ティーレマンとウィーン・フィルが、ベートーヴェンの交響曲第4番と『運命』、『エグモント』序曲の雄渾な演奏で北京の聴衆を沸かせる。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第4番変ロ長調Op.60/交響曲第5番八短調Op.67『運命』/劇音楽『エグモント』Op.84～序曲[指揮]クリスティアン・ティーレマン[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団[収録]2013年11月3日中国国家大劇院（北京）[映像監督]ゲー・シャオフォン ■字幕/約1時間26分
ティーレマン&シュターツカペレ・ドレスデン『ブルックナー：交響曲第1番』	14,1 6,17 ,18, 19,2 0	ティーレマンが首席指揮者就任以来、シュターツカペレ・ドレスデンと取り組む、映像によるブルックナー交響曲シリーズ。「新ブルックナー全集」第1弾として出版された最新の「リッツ稿」による第1番！	[演目]アントン・ブルックナー：交響曲第1番八短調WAB.101（リッツ稿）[指揮]クリスティアン・ティーレマン[演奏]シュターツカペレ・ドレスデン[収録]2017年9月6日フィルハーモニー（ガスタイク内、ミュンヘン）[映像監督]アンドレアス・モレル ■約57分
パッパーノ&バイエルン放送響「バーンスタインとラフマニノフ」	1,7, 12,2 9	現代のカリスマ指揮者パッパーノの珍しいバイエルン放送響への客演。全集を録音したばかりのバーンスタインと、ロマンティックに歌うラフマニノフの2つの交響曲。	[演目]レナード・バーンスタイン：交響曲第2番『不安の時代』、セルゲイ・ラフマニノフ：6つの小品Op.11～第4曲「ワルツ」Op.11-4/交響曲第2番ホ短調Op.27[指揮]サー・アントニオ・パッパーノ[演奏]バイエルン放送交響楽団、キリル・ゲルシュタイン（ピアノ）[収録]2018年6月15日フィルハーモニー（ガスタイク内、ミュンヘン）[映像監督]ハンス・ハドゥッラ ■字幕/1時間55分（番組枠）

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ヤンソンス&ウィーン・フィル定期公演2019	17,18,19,20,21,22,23	追悼マリス・ヤンソンス。つねにオーケストラに寄り添って親密な音楽を引き出した稀有な巨匠。2019年6月、ウィーン・フィルとの最後の定期公演。	[演目] ロベルト・アレクサンダー・シューマン：交響曲第1番変ロ長調Op.38『春』、エクトル・ベルリオーズ：幻想交響曲Op.14 [指揮] マリス・ヤンソンス [演奏] ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録] 2019年6月ムジークフェラインザール (ウィーン) [映像監督] ディック・カイス
ホフマン&セリグ『ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第2番』	1	チェロのゲイリー・ホフマンが、一晩でベートーヴェンのチェロ・ソナタ全曲に挑む。誠実で緻密な解釈で、懐深い名演を実現。ピアノの技巧も光る第2番。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第2番ト短調Op.5-2 [チェロ] ゲイリー・ホフマン[ピアノ]デイヴィッド・セリグ [収録] 2019年5月2日エリザベート王妃音楽院(ワテルロー) [映像監督] フレデリック・デレスク
ホフマン&セリグ『ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第3番』	2,3,4,5,6,8	チェロのゲイリー・ホフマンが、一晩でベートーヴェンのチェロ・ソナタ全曲に挑む。誠実で緻密な解釈で、懐深い名演を実現。深く、力強く、美しい演奏で大作第3番を。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第3番イ長調Op.69 [チェロ] ゲイリー・ホフマン[ピアノ]デイヴィッド・セリグ [収録] 2019年5月2日エリザベート王妃音楽院(ワテルロー) [映像監督] フレデリック・デレスク
ホフマン&セリグ『ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第4番』	6,7,9,10,11,12,13,15	チェロのゲイリー・ホフマンが、一晩でベートーヴェンのチェロ・ソナタ全曲に挑む。誠実で緻密な解釈で、懐深い名演を実現。ユニークな第4番を巧みに聴かせる。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第4番ハ長調Op.102-1 [演奏] ゲイリー・ホフマン(チェロ)、デイヴィッド・セリグ(ピアノ) [収録] 2019年5月2日エリザベート王妃音楽院(ワテルロー) [映像監督] フレデリック・デレスク
ホフマン&セリグ『ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第5番』	13,14,16,17,18,19,20	チェロのゲイリー・ホフマンが、一晩でベートーヴェンのチェロ・ソナタ全曲に挑む。誠実で緻密な解釈で、懐深い名演を実現。最後の第5番で穏やかな感動を味わう。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第5番ニ長調Op.102-2 [演奏] ゲイリー・ホフマン(チェロ)、デイヴィッド・セリグ(ピアノ) [収録] 2019年5月2日エリザベート王妃音楽院(ワテルロー) [映像監督] フレデリック・デレスク

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ハリウッド in ウィーン 2019	1	ウィーンの新たな名物コンサート。ウィーン出身のM・スタイナーを顕彰する「ハリウッド・イン・ウィーン」に、『イングリッシュ・ペイシエント』のG・ヤレドが登場！	<p>[演目] マックス・スタイナー&ブルース・プロートン：ハリウッド・イン・ウィーン・ファンファーレ、ジョン・ウィリアムズ編曲：ハリウッド・ゴールデン・エイジ組曲（リチャード・A・ホワイティング：映画『聖林（ハリウッド）ホテル』、アーヴィング・バーリン：映画『アニーよ銃をとれ』、アーサー・シュワルツ：映画『バンド・ワゴン』）、ハロルド・アーレン：『オズの魔法使い』～虹の彼方に、ジョージ・ガーシュウィン：映画『巴里のアメリカ人』～パリのアメリカ人／スワンダフル、ミシェル・ルグラン：映画『おもいで』～メイン・タイトル、ジョン・ウィリアムズ：映画『ジョーズ』～メイン・タイトル／映画『シンドラーのリスト』～メイン・タイトル、アラン・シルヴェストリ：映画『フォレスト・ガンプ／一期一会』組曲、ルドウィグ・ゴランソン：映画『ブラックパンサー』組曲、マーク・シャイマン：映画『メリー・ポピンズ リターンズ』～幸せのありがた、オスカー・エンド・クレジット（アカデミー受賞曲の断片によるメドレー）、ガブリエル・ヤレド：メドレー（映画『ツリスト』～舞曲曲へ長調、映画『ロイヤル・アフエア 愛と欲望の王宮』、映画『メッセージ・イン・ア・ボトル』、映画『コールド マウンテン』、映画『トイ』）／映画『ベティ・ブルー／愛と激情の日々』組曲／映画『溝の中の月』～タンゴ／映画『リブリー』～ラバイ・フォー・カイン／イタリア／クレイジー・トム／映画『抱擁』～アリア／映画『ショコラ ～君がいて、僕がいる～』／映画『アメリカ 永遠の翼』／映画『イングリッシュ・ペイシエント』、マックス・スタイナー：映画『風と共に去りぬ』～タラのテーマ</p> <p>[演奏] キース・ロックハート（指揮）ウィーン放送交響楽団、カントゥス・ノーヴス（合唱）マーク・シャイマン（ピアノ、ヴォーカル）ラモン・ヴァルガス（テノール）ジュディス・ヒル（ヴォーカル）ゴルナー・シャヒール（ヴォーカル）</p>
ウルバンスキ&NDRエルプフィル「ホルストとウィリアムズ」	7,8	もはやオーケストラ音楽の新定番『スター・ウォーズ』と、元祖「スペース組曲」の『惑星』。ハンブルクの新名所エルプフィルハーモニーに宇宙が響く！	<p>[演目] グスターヴ・ホルスト：組曲『惑星』</p> <p>1. 火星（戦争をもたらす者）2. 金星（平和をもたらす者）3. 水星（翼のある使者）4. 木星（快楽をもたらす者）5. 土星（老いをもたらす者）6. 天王星（魔術師）7. 海王星（神秘主義者）</p> <p>ジョン・ウィリアムズ：『スター・ウォーズ』組曲</p> <p>1. メイン・タイトル 2. ルークとレイア 3. アステロイド・フィールド 4. 帝国のマーチ（ダース・ベイダーのテーマ）5. 酒場のバンド 6. 森林での戦い 7. 王座の間とエンド・タイトル</p> <p>ジョン・ウィリアムズ：『スター・ウォーズ』メイン・タイトル抜粋</p> <p>[指揮] クシシュトフ・ウルバンスキ [演奏] NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団（旧北ドイツ放送交響楽団）</p> <p>[合唱] アルノルト・シェーンベルク合唱団女声部 [合唱指揮] エルヴィン・オルトナー、ロジャー・ディアス＝カハマルカ</p> <p>[収録] 2018年5月、ハンブルク、エルプフィルハーモニー（ライブ）</p> <p>[映像監督] アレクサンドル・ラドゥレスク</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ヤンソンス&ウィーン・フィル定期公演2017	15,1 6,17 ,18, 19,2 0,21 ,28, 29	剛と柔が理想的にかみ合い、自然の息吹やドラマが生まれる……。逝去が惜しまれる大指揮者ヤンソンスとウィーン・フィルによる貴重な定期公演ライブ。	<p>[指揮] マリス・ヤンソンス [演奏] ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団</p> <p>[曲目] アントニン・ドヴォルザーク：交響曲第8番ト長調Op.88 リヒャルト・シュトラウス：交響詩『死と変容』Op.24 イーゴリ・ストラヴィンスキー：バレエ『火の鳥』組曲（1919年版）</p> <p>[収録] 2017年6月 ウィーン楽友協会大ホール [映像監督] ディック・カイス</p>
ヤンソンス&ベルリン・フィル 2015「ツインマーマンを迎えて」	8,9, 10,1 1,12 ,13, 14,2 1,22	2019年11月に亡くなったヤンソンス、2015年ベルリン・フィル定期での20世紀作品集でその温かい指揮ぶりを偲ぶ。ツインマーマンの名技が光るショスタコーヴィチも。	<p>[演目] バルトーク・ベラ：弦楽器、打楽器とチェレスタのための音楽Sz.106 ドミートリイ・ショスタコーヴィチ：ヴァイオリン協奏曲第2番嬰ハ短調Op.129 J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第2番イ短調BWV1003よりアレグロ モーリス・ラヴェル：バレエ『ダフニスとクロエ』第2組曲</p> <p>[指揮] マリス・ヤンソンス [演奏] ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、フランク・ペーター・ツインマーマン（ヴァイオリン）</p> <p>[収録] 2015年5月 フィルハーモニー（ベルリン） [映像監督] ミハエル・ベイヤー ■1時間50分（番組枠）</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ヤンソンス&ラン・ラン「ジルヴェスター・コンサート2018」	22,2 3,24 ,25, 26,2 7,28	2019年に生涯を閉じた現代の巨匠マリス・ヤンソンスが、その前年の大晦日に手兵バイエルン放送交響楽団とともに開いた、なんとまあたかいかガラ・コンサート	[指揮] マリス・ヤンソンス [演奏] バイエルン放送交響楽団、ラン・ラン (ピアノ) [曲目] レナード・バーンスタイン：『キャンディード』序曲 クロード・ドビュッシー：月の光 (レオポルド・ストコフスキー編曲) エドワード・エルガー：付随音楽『子供の魔法の杖』Op.1より～野生の熊 ジャン・シベリウス：悲しきワルツOp.44 アントニン・ドヴォルザーク：スラヴ舞曲集第7番 (第15番) 八長調 Op.72-7 ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：ピアノ協奏曲第21番八長調K.467より～第2楽章アンダンテ 黄河協奏曲 (1939年) より～第2楽章黄河賛歌 フレデリック・ショパン：華麗なる大円舞曲変ホ長調Op.18 (ソリスト・アンコール) 外山雄三：バレエ組曲『幽玄』より～男たちの踊り ピエトロ・マスカーニ：歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』間奏曲 ヨハネス・ブラームス：ハンガリー舞曲集第5番ト短調 (アルバート・パロウ編曲) ルペルト・チャピ：サルスエラ『人騒がせな娘』前奏曲 ジェルジュ・リゲティ：ルーマニア協奏曲より～第4楽章 (アンコール) ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：バレエ音楽『眠りの森の美女』より～パノラマ
バーンスタインのブラームス『大学祝典序曲』	25,2 6,27 ,30, 31		[演目]ヨハネス・ブラームス：大学祝典序曲Op.80 [指揮]レナード・バーンスタイン[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録]1981年10月3日～11日ムジークフェアインザール (ウィーン) [映像監督]ハンフリー・バートン ■約14分
バーンスタイン&ウィーン・フィル『ブラームス：ヴァイオリン協奏曲』	1,15 ,29,	ベートーヴェンに引き続き、バーンスタインがウィーン・フィルと行ったブラームス全集より。ヴァイオリンは、1982年当時、世界的に注目を集め始めた頃の若きギドン・クレーメル。	[演目]ヨハネス・ブラームス：ヴァイオリン協奏曲二長調Op.77[指揮]レナード・バーンスタイン[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ギドン・クレーメル (ヴァイオリン) [収録]1982年9月16日～20日コンツェルトハウス (ウィーン) [映像監督]ハンフリー・バートン ■約43分
バーンスタインのハイドン『オックスフォード』	25,2 6,27 ,30, 31	104曲の交響曲の中では比較的地味な存在だが、ウィットと起伏に富んだ表現と対位法の妙など、ハイドンの創意工夫が充実した、まさに古典派！と納得させられる名曲。	[演目]フランツ・ヨーゼフ・ハイドン：交響曲第92番ト長調Hob. I -92『オックスフォード』[指揮]レナード・バーンスタイン[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団[収録]1983年ムジークフェアインザール (ウィーン) [映像監督]ハンフリー・バートン ■約31分
バーンスタインのハイドン『驚愕』	18,1 9,20 ,23, 24	ハイドンの104曲の交響曲の中でも最も愛されている楽曲。『驚愕』という愛称は、演奏会場で居眠りをするご婦人方を起こすために、大音量の和音が登場することに由来。	[演目]フランツ・ヨーゼフ・ハイドン：交響曲第94番ト長調Hob. I -94『驚愕』[指揮]レナード・バーンスタイン[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団[収録]1985年10月ムジークフェアインザール (ウィーン) [映像監督]ハンフリー・バートン ■約28分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
バーンスタイン&シュミードル『モーツァルト：クラリネット協奏曲』	20,2 3,24 ,25, 26	モーツァルト最晩年の傑作で、クラリネット協奏曲では最も有名なものの。指揮者レナード・バーンスタインの珍しいメガネ姿が見られるのも映像ならではのお楽しみ。	[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：クラリネット協奏曲イ長調K.622[指揮]レナード・バーンスタイン [演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ペーター・シュミードル（クラリネット）[収録]1987年9月コンツェルトハウス（ウィーン）[映像監督]ハンフリー・バートン ■約34分
アーノンクールのバッハ『オーボエとヴァイオリンのための協奏曲』	14,2 4,25 ,26, 27	20世紀の古楽運動の主導者としてクラシック音楽界に革命をもたらした、2016年3月に86歳で亡くなったニコラウス・アーノンクールと手兵「ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス」が1982年に映像収録したJ・S・バッハ『オーボエとヴァイオリンのための協奏曲二短調』。	[演目]ヨハン・セバスティアン・バッハ：オーボエとヴァイオリンのための協奏曲二短調BWV.1060a[演奏]ニコラウス・アーノンクール&ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス、ユルク・シェフトライン（オーボエ）アリス・アーノンクール（ヴァイオリン） [収録]オクセンハウゼン修道院図書館[映像監督]クラウス・リンデマン[制作]1984年 ■約17分
バーンスタイン&ツィメルマン『ブラームス：ピアノ協奏曲第1番』	8	25歳のブラームスにとって初のピアノ協奏曲。見栄えのするピアノの超絶技巧と情熱的な作風から、ブラームス初期の代表作に挙げられる。	[演目]ヨハネス・ブラームス：ピアノ協奏曲第1番二短調Op.15[指揮]レナード・バーンスタイン[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、クリスティアン・ツィメルマン（ピアノ）[収録]1983年11月ムジークフェラインザール（ウィーン）[映像監督]ハンフリー・バートン ■約59分
バーンスタイン&ボストン響「ブラームス：交響曲第2番」	2,3	アメリカ合衆国マサチューセッツ州で行われるタングルウッド音楽祭の音楽監督を務めたレナード・バーンスタインが、音楽祭のレジデンス・オーケストラのボストン交響楽団と1972年に共演したブラームスの交響曲第2番。	[演目]ヨハネス・ブラームス：交響曲第2番二長調Op.73[指揮]レナード・バーンスタイン[演奏]ボストン交響楽団[収録]1972年シエッド「タングルウッド音楽祭1972」（米国マサチューセッツ州）[映像監督]ハンフリー・バートン ■約44分
バーンスタイン&ボストン響「ブラームス：交響曲第4番」	10,1 1,12 ,13	アメリカ合衆国マサチューセッツ州で行われるタングルウッド音楽祭の音楽監督を務めたレナード・バーンスタインが、音楽祭のレジデンス・オーケストラのボストン交響楽団と1972年に共演したブラームスの交響曲第4番。	[演目]ヨハネス・ブラームス：交響曲第4番ホ短調Op.98[指揮]レナード・バーンスタイン[演奏]ボストン交響楽団[収録]1972年シエッド「タングルウッド音楽祭1972」（米国マサチューセッツ州）[映像監督]ハンフリー・バートン ■約44分
メンデルスゾーン：劇音楽『真夏の夜の夢』（抜粋）	10,2 1,23 ,27	劇音楽Op.61の抜粋の中に演奏会用序曲Op.21を組み合わせたバージョン。さまざまな楽器が幻想世界を描写するため、シカゴ響メンバーのスーパープレイが視覚的に楽しめるところがポイント。	[演目]フェリックス・メンデルスゾーン=バルトルディ：劇音楽『真夏の夜の夢』Op.61～第1曲「序曲Op.21」第2曲「スケルツォOp.61-1」第10曲「結婚行進曲Op.61-9」第6曲「間奏曲Op.61-5」第14曲「終曲Op.61-13」[指揮]サー・ゲオルグ・ショルティ[演奏]シカゴ交響楽団[収録]1976年オーケストラ・ホール（シカゴ）[映像監督]ハンフリー・バートン ■約31分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ショルティ&シカゴ響『未完成』	30,3 1	20世紀を代表するハンガリーの指揮者ゲオルグ・ショルティと手兵シカゴ響の黄金コンビによる、シューベルトの最も有名な『未完成』の定番映像。	[演目]フランツ・ペーター・シューベルト：交響曲第7番（旧8番）D.759『未完成』[指揮]サー・ゲオルグ・ショルティ[演奏]シカゴ交響楽団[収録]1979年オーケストラ・ホール（シカゴ）[映像監督]ハンフリー・バートン ■約33分
シューマン：劇音楽『マンフレッド』序曲	18,1 9,20 ,23, 24	ロマン派の作曲家シューマンが、英国の詩人バイロンの長大な戯曲『マンフレッド』に作曲した、彼にとって数少ない舞台音楽の一つ。現在では序曲のみが有名。	[演目]ロベルト・アレクサンダー・シューマン：劇音楽『マンフレッド』Op.115～序曲[指揮]レナード・バーンスタイン [演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団[収録]1985年10月23日～11月6日ムジークフェラインザール（ウィーン）[映像監督]ハンフリー・バートン ■約16分
ツィメルマンのショパン『バラード第1番』	11,1 2,13 ,16, 17	第9回（1975年）ショパン国際ピアノ・コンクールで、史上初のポーランド人優勝、しかも史上最年少優勝が大きな話題を呼んだクリスティアン・ツィメルマンは、今や世界最高のピアニストの一人として、日本でも高い人気を誇る巨匠です。	[演目]フレデリック・フランソワ・ショパン：バラード第1番ト短調Op.23 [ピアノ]クリスティアン・ツィメルマン [収録]1987年2月ローゼンヒューゲル（ウィーン） [映像監督]ハンフリー・バートン ■約12分
ツィメルマンのショパン『バラード第2番』	21,2 3,24 ,25, 26	第9回（1975年）ショパン国際ピアノ・コンクールで、史上初のポーランド人優勝、しかも史上最年少優勝が大きな話題を呼んだクリスティアン・ツィメルマンは、今や世界最高のピアニストの一人として、日本でも高い人気を誇る巨匠です。	[演目]フレデリック・フランソワ・ショパン：バラード第2番ハ長調Op.38 [ピアノ]クリスティアン・ツィメルマン [収録]1987年2月ローゼンヒューゲル（ウィーン） [映像監督]ハンフリー・バートン ■約9分
ツィメルマンのショパン『バラード第3番』	9,10 ,11, 12,1 3	第9回（1975年）ショパン国際ピアノ・コンクールで、史上初のポーランド人優勝、しかも史上最年少優勝が大きな話題を呼んだクリスティアン・ツィメルマンは、今や世界最高のピアニストの一人として、日本でも高い人気を誇る巨匠です。	[演目]フレデリック・フランソワ・ショパン：バラード第3番変イ長調Op.47 [ピアノ]クリスティアン・ツィメルマン [収録]1987年2月ローゼンヒューゲル（ウィーン） [映像監督]ハンフリー・バートン ■約9分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ツィメルマンのショパン『バラード第4番』	13,16,17,18,19	第9回（1975年）ショパン国際ピアノ・コンクールで、史上初のポーランド人優勝、しかも史上最年少優勝が大きな話題を呼んだクリスティアン・ツィメルマンは、今や世界最高のピアニストの一人として、日本でも高い人気を誇る巨匠です。	[演目]フレデリック・フランソワ・ショパン：バラード第4番へ短調Op.52 [ピアノ]クリスティアン・ツィメルマン [収録]1987年2月ローゼンヒューゲル（ウィーン） [映像監督]ハンフリー・バートン ■約13分
ルービンシュタインのグリーグ『ピアノ協奏曲』	11,12,13,16,17		[演目]エドヴァルド・グリーグ：ピアノ協奏曲イ短調Op.16 [指揮]アンドレ・プレヴィン[演奏]ロンドン交響楽団、アルトゥール・ルービンシュタイン（ピアノ） [収録]1975年4月フェアフィールド・ホール（ロンドン） [映像監督]フーゴ・ケヒ ■約35分
ボッケリーニ：チェロ協奏曲変ロ長調	22,23,24,25,26,27,28	モーツァルトと同時代の作曲家でチェリストとしても高名であったボッケリーニの数あるチェロ協奏曲の中で最も有名なもの。フランスのチェリスト、グザヴィエ・フィリップの端正で艶やかな美音に注目。	[演目]ルイジ・ボッケリーニ：チェロ協奏曲第9番変ロ長調G.482 [指揮]フィリップ・グリーンバーク [演奏]バイエルン・カンマーフィルハーモニー管弦楽団、グザヴィエ・フィリップ（チェロ） [収録]2000年モーツァルテウム（ザルツブルク）「モーツァルト週間」 [映像監督]ホラント・H・ホールフェルト ■約24分
ポゴレリチのショパン『ポロネーズ第4番』	27,30,31	一躍脚光を浴びた1980年ショパン・コンクールから7年後に収録されたポゴレリチ20代後半の瑞々しいショパンのポロネーズ第4番。強靱なタッチと確かなテクニックを捉えたカメラワークに注目。	[演目]フレデリック・フランソワ・ショパン：ポロネーズ第4番ハ短調Op.40-2 [ピアノ]イーヴォ・ポゴレリチ [収録]1987年4月～5月レアレ・ディ・ラッコネージ城（トリノ近郊） [映像監督]ホラント・H・ホールフェルト ■約10分
ショルティ&ロンドン・フィル『コッペリア組曲』	3,4,5,6,7,15	「フランス・バレエ音楽の父」とも称されるレオ・ドリーブが作曲した最も有名なバレエ音楽『コッペリア』からの組曲。CMやテレビでおなじみの旋律が次々に登場します。	[演目]レオ・ドリーブ：バレエ音楽『コッペリア』組曲（前奏曲とマズルカ／情景とスワニルダの円舞曲／チャールダーシュ／情景と人形の円舞曲／バラード／スラブ民謡と変奏曲） [指揮]サー・ゲオルグ・ショルティ [演奏]ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録]1979年12月31日ロイヤル・フェスティバル・ホール「ニューイヤー・イヴ・コンサート」 [映像監督]ハンフリー・バートン ■約14分
アーノンクール&ウィーン・フィル「モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第4番」	17,18,19,20	1980年代にニコラウス・アーノンクールが鬼才ヴァイオリニスト、ギドン・クレーメルと共にウィーン・フィルと取り組んだモーツァルト「ヴァイオリン協奏曲全集」は、これまでの既成概念を打ち砕く斬新な解釈が、当時大きな反響を巻き起こしました。	[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第4番二長調K.218 [指揮]ニコラウス・アーノンクール [演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ギドン・クレーメル（ヴァイオリン） [収録]1987年1月ムジークフェラインザール（ウィーン） [映像監督]ロドニー・グリーンバーク ■約25分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ワーグナー：楽劇『トリスタンとイゾルデ』前奏曲と愛の死	1	単独でも演奏されることが多い名曲。1969年音楽監督就任から瞬く間にシカゴ響を世界有数のオーケストラに育て上げたショルティ全盛期の演奏がドラマティック。	[演目]リヒャルト・ワーグナー：楽劇『トリスタンとイゾルデ』～第1幕前奏曲とイゾルデの愛の死[指揮]サー・ゲオルグ・ショルティ[演奏]シカゴ交響楽団[収録]1979年オーケストラ・ホール（シカゴ）[映像監督]ハンフリー・バートン ■約21分
バーンスタイン&ウィーン・フィル『ブラームス：ヴァイオリンとチェロのための協奏曲』	28,30,31	バーンスタインがウィーン・フィルと行ったブラームス全集より。1982年当時、世界的に注目を集め始めた頃の若きギドン・クレーメルとミッシャ・マイスキーの二重協奏曲。	[演目]ヨハネス・ブラームス：ヴァイオリンとチェロのための協奏曲イ短調Op.102[指揮]レナード・バーンスタイン[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ギドン・クレーメル（ヴァイオリン）ミッシャ・マイスキー（チェロ）[収録]1982年9月1日～6日ムジークフェラインザール（ウィーン）[映像監督]ハンフリー・バートン ■約40分
バーンスタインのシューマン『交響曲第4番』	26,27,28,30,31	早世した名コンサートマスター、ゲアハルト・ヘッツェルの姿は感動的で、第2楽章のヴァイオリン・ソロは必見。最終楽章のラストの盛り上がりも圧巻。	[演目]ロベルト・アレクサンダー・シューマン：交響曲第4番二短調Op.120[指揮]レナード・バーンスタイン[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団[収録]1984年2月2日～6日ムジークフェラインザール（ウィーン）[映像監督]ハンフリー・バートン ■約36分
ドキュメンタリー&エンターテインメント			
イグデスマン&ジョーの『オーケストラ・ガイド』	31	先例のない音楽漫才コンビ「イグデスマン&ジョー」。二人が名門トーンハレ管弦楽団とともに「世界の歴史」と「楽器の歴史」を一挙に紹介する、爆笑のステージ。	[発案・台本・作曲・出演] イグデスマン&ジョー：アレクセイ・イグデスマン（ヴァイオリニスト・俳優）&ヒョンギ・ジョー（ピアニスト・俳優） [演奏] ジョシュア・ワイラースタイン（指揮） チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 [振付・演出] フェルディナンド・チェファロ [制作] 2018年チューリッヒ・トーンハレ（スイス） [映像監督] フリードリヒ・ガッツ ■字幕／1時間（番組枠）
ヤンソンス独占インタビュー in Japan	17,18,19,20,21,22,23		[出演]マリス・ヤンソンス[収録]2012年11月25日 ■字幕／約8分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ブエノスアイレスより愛を込めて「タンゴ・フィエスタ！」	26,27,28,30,31	アルゼンチン・タンゴの黄金期を築いた巨匠たちが、ブエノスアイレスの由緒ある舞踏場「エル・パラシオ」に集結。本場アルゼンチン・タンゴの味わいを堪能。	[出演]ロドルフォ・メデーロス（バンドネオン） フアン・カルロス・ゴドイ（歌手） テレサ・パロディ（歌手） ホセ・“ペペ”・コランジェロ（ピアノ） フェルナンド・スアレス・パス（ヴァイオリン） グスタボ・モッシ（ギター） エドゥアルド&グロリア（ダンサー） カフェ・デ・ロス・マエストロス、オトロス・アイレス、オルケスタ・マチネ他[演目]アストル・ピアソラ：ミケランジェロ'70／ハシント・チクラーナ／ブエノスアイレスの夏／リベルタンゴ、カルロス・ガルデル：ポル・ウナ・カベサ、ペドロ・マフィア：タコネアンド、ペドロ・ラウレンス：ミロンガ・デ・ミス・アモーレス（わが愛のミロンガ）、ミゲル・デ・ジェノヴァ：トリステザ・デ・アラバル（悲しみの場末） 他[収録]2011年12月31日エル・パラシオ（ブエノスアイレス） [監督]アクセル・ルートヴィヒ ■字幕／約1時間22分
バーンスタインの『ヤング・ピープルズ・コンサート』シーズン2 第2話「ふつうじゃない楽器たち」	1	新たに発掘されたバーンスタイン伝説のTVシリーズのシーズン2。第2話は、民族楽器、古楽器からテープレコーダーまで、当時の珍しい楽器たちを紹介。	[出演]レナード・バーンスタイン（お話・指揮） ニューヨーク・フィルハーモニック、ニューヨーク・プロムジカ（古楽アンサンブル） ウラジミール・ウサチェフスキー（テープレコーダー） アニタ・ダリアン（カズー） [演目]エイトル・ヴィラ＝ロボス：小さな汽車、フランシスコ・デ・ラ・トレ：ダンサ・アルタ、ジョヴァンニ・ガブリエリ：金管八重奏のためのカンツォン、ヨハン・セバスティアン・バッハ：ブランデンブルク協奏曲第4番ト長調BWV.1049～第1楽章、オットー・ルーニング&ウラジミール・ウサチェフスキー：テープレコーダーと管弦楽のための協奏曲、マーク・ブッチ：カズー協奏曲[収録]1960年3月20日カーネギー・ホール（ニューヨーク） [オリジナル放映日]1960年3月27日[映像監督]ロジャー・イングラダー ■字幕／約54分
バーンスタインの『ヤング・ピープルズ・コンサート』シーズン2 第3話「序曲と前奏曲」	1	新たに発掘されたバーンスタイン伝説のTVシリーズのシーズン2。第3話は、序曲と前奏曲についてわかりやすく解説。自作『キャンディード』序曲の名演も。	[出演]レナード・バーンスタイン（お話・指揮） ニューヨーク・フィルハーモニック[演目]ジョアキーノ・ロッシーニ：歌劇『セミラミデ』序曲、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：『レオノーレ』序曲第3番Op.72a、クロード・ドビュシー：牧神の午後への前奏曲、レナード・バーンスタイン：ミュージカル『キャンディード』序曲[収録]1960年10月22日カーネギー・ホール（ニューヨーク） [オリジナル放映日]1961年1月8日[映像監督]ロジャー・イングラダー ■字幕／約55分
バーンスタインの『ヤング・ピープルズ・コンサート』シーズン2 第4話「ハッピー・バースデー！アーロン・コーブランド」	2,3,8,	新たに発掘されたバーンスタイン伝説のTVシリーズのシーズン2。第4話は、アメリカの作曲家コーブランドの60歳の誕生日を祝い、コーブランド自身の貴重な指揮も。	[出演]レナード・バーンスタイン（お話・指揮・ピアノ） アーロン・コーブランド（指揮） ニューヨーク・フィルハーモニック、ウィリアム・ワーフィールド（バリトン） [演目]アーロン・コーブランド：野外序曲／管弦楽のための『ステイトメンツ』～第3曲「ドグマティック」／劇場のための音楽～第2曲「ダンス」／映画音楽『我等の町』／バレエ『ロデオ』～「ホー・ダウン」／『古いアメリカの歌』～「船乗りの踊り」「私は猫を買ってきた」／エル・サロン・メヒコ[収録]1960年11月12日カーネギー・ホール[オリジナル放映日]1961年2月12日[映像監督]ロジャー・イングラダー ■字幕／約55分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
バーンスタインの『ヤング・ピープルズ・コンサート』シーズン2 第5話 「ヤング・アーティストVol.2」	2,3,8,	新たに発掘されたバーンスタインの伝説のTVシリーズのシーズン2。第5話は、後の巨匠リン・ハレル16歳のドヴォルザーク「チェロ協奏曲」が見どころ。	[出演]レナード・バーンスタイン（お話・指揮） ニューヨーク・フィルハーモニック、リン・ハレル（チェロ） チュン・チャ・キム（ピアノ） ヴェロニカ・タイラー（ソプラノ） ヘンリー・チェイピン（ナレーター） エリアクム・シャピエラ（指揮） ラッセル・スタンガー（指揮） グレゴリー・ミラー（指揮） [演目]アントニン・ドヴォルザーク：チェロ協奏曲短調Op.104～第4楽章、フレデリック・フランソワ・ショパン：ピアノ協奏曲第1番短調Op.11～第2楽章、ジャコモ・プッチーニ：歌劇『ラ・ボエーム』～ミミのアリア「さようなら、あなたの愛の呼び声に（ミミの別れ）」、ジャン＝カルロ・メンotti：歌劇『電話』～ルーシーのアリア、ベンジャミン・ブリテン：青少年のための管弦楽入門[収録]1961年3月18日カーネギー・ホール（ニューヨーク） [オリジナル放映日]1961年3月19日 [映像監督]ロジャー・イングラダー ■字幕／約55分
バーンスタインの『ヤング・ピープルズ・コンサート』シーズン2 第6話 「パリを目指して」	4,5,6,7,9,10,11,15,	新たに発掘されたバーンスタインの伝説のTVシリーズのシーズン2。第6話は、パリをテーマに、ひねりの利いたアプローチとバーンスタインの名トークを堪能しよう。	[出演] レナード・バーンスタイン（お話・指揮・ピアノ） ニューヨーク・フィルハーモニック、ザラ・ネルソヴァ（チェロ） [演目]ジョージ・ガーシュウィン：パリのアメリカ人、エルネスト・ブロッホ：ヘブライ狂詩曲『シロモ』、マヌエル・デ・ファリャ：バレエ音楽『三角帽子』～「ファルーカ（粉屋の踊り）」「ホタ（終幕の踊り）」 [収録]1961年11月11日カーネギー・ホール（ニューヨーク） [オリジナル放映日]1962年1月18日 [映像監督]ロジャー・イングラダー ■字幕／約56分
バーンスタインの『ヤング・ピープルズ・コンサート』シーズン2 第7話 「ヤング・アーティストVol.3」	4,5,6,7,9,10,11,15,	新たに発掘されたバーンスタインの伝説のTVシリーズのシーズン2。第7話は、若い音楽家を紹介するシリーズ3回目。若き日の小澤征爾とゲイリー・カーが登場！	[出演]レナード・バーンスタイン（お話・指揮・語り） ニューヨーク・フィルハーモニック、小澤征爾（指揮） ゲイリー・カー（コントラバス） モーリス・ペレス（指揮） ジョン・カナリーナ（指揮） ルース・シーガル&ナオミ・シーガル（ピアノ・デュオ） ポーラ・ロビソン（フルート&ピッコロ） ポール・グリーン（クラリネット） トニー・チローネ（シロフォン） デイヴィッド・ホッパー（グロッケンシュピール） [演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』K.492～序曲、エルネスト・ブロッホ：祈り（コントラバス版）、ニコロ・パガニーニ：ロッシェニの歌劇『エジプトのモーゼ』の主題による幻想曲（コントラバス版）、カミーユ・サン＝サーンス：組曲『動物の謝肉祭』（序奏と獅子王の行進曲／メンドリとオンドリ／野生のロバ／亀／象／カンガルー／水族館／耳の長い登場人物／森の奥のくさくさ／大きな鳥籠／ピアニスト／化石／白鳥／終曲） [収録]1962年カーネギー・ホール（ニューヨーク） [オリジナル放映日] 1962年4月14日 [映像監督] ロジャー・イングラダー ■字幕／約55分
バーンスタインの『ヤング・ピープルズ・コンサート』シーズン2 第8話 「ホールの音響」	11,12,13,14,16,17,18,22,	新たに発掘されたバーンスタインの伝説のTVシリーズのシーズン2。第8話はニューヨーク・フィルの新本拠地となるリンカーン・センターのホールで音響について語る。	[出演]レナード・バーンスタイン（お話・指揮・語り） ニューヨーク・フィルハーモニック、シャーリー・ヴァーレット＝カーター（メゾ・ソプラノ） ジョン・コリアーノ、フランク・グリーン、ジョゼフ・バーンスタイン、ウィリアム・デンビンスキー（ヴァイオリン） [演目]エクトル・ベルリオーズ：序曲『ローマの謝肉祭』Op.9、アーロン・コープランド：『古いアメリカの歌』より子守歌「小さな馬たち」、アントニオ・ヴィヴァルディ：4つのヴァイオリンのための協奏曲短調Op.3-10,RV.580～第1楽章、ウィリアム・ウォルトン：『ファサード』～「タンゴ・パソドブレ」、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：序曲『1812年』Op.49 [収録]1962年9月30日フィルハーモニック・ホール、リンカーン・センター（ニューヨーク） [オリジナル放映日]1962年11月21日 [映像監督]ロジャー・イングラダー ■字幕／約55分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
バーンスタインの『ヤング・ピープルズ・コンサート』シーズン2 第9話「ヤング・アーティストVol.4」	11,1 2,13 ,14, 16,1 7,18 ,22,	新たに発掘されたバーンスタインの伝説のTVシリーズのシーズン2。第9話は今なお活躍する名ピアニスト、アンドレ・ワッツ16歳のリスト『ピアノ協奏曲第1番』。	[出演]レナード・バーンスタイン（お話・指揮）ニューヨーク・フィルハーモニック、ジョン・ワイナー（ピアノ）クラウディア・ホカ（ピアノ）パメラ・パウル（ピアノ）アンドレ・ワッツ（ピアノ）ユーリ・クラスノポリスキー（指揮）ゾルターン・ロズニャイ（指揮）セルジュ・フルニエ（指揮）[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：ピアノ協奏曲第23番イ長調K.488～第1楽章／第2楽章／第3楽章、フランツ・リスト：ピアノ協奏曲第1番変ホ長調S.124/R.455[収録]1963年1月12日フィルハーモニック・ホール、リンカーン・センター（ニューヨーク）[オリジナル放映日]1963年1月15日[映像監督]ロジャー・イングランドー ■字幕／約56分
バーンスタインの『ヤング・ピープルズ・コンサート』シーズン2 第10話「恩師に捧ぐ」	18,1 9,20 ,21, 23,2 4,25 ,29,	新たに発掘されたバーンスタインの伝説のTVシリーズのシーズン2。バーンスタイン自身が薫陶を受けた恩師について、その熱い想いとレアな演目は見もの。	[出演]レナード・バーンスタイン（お話・指揮）ニューヨーク・フィルハーモニック[演目]モDESTO・ムソルグスキー：歌劇『ホヴァンチチナ』～第1幕の前奏曲「モスクワ川の夜明け」、ランドール・トンプソン：交響曲第2番～第3楽章「スケルツォ」、ウォルター・ピストン：バレエ組曲『不思議な笛吹き』、ヨハネス・ブラームス：大学祝典序曲Op.80[収録]1963年11月2日フィルハーモニック・ホール、リンカーン・センター（ニューヨーク）[オリジナル放映日]1963年11月29日[映像監督]ロジャー・イングランドー ■字幕／約55分
バーンスタインの『ヤング・ピープルズ・コンサート』シーズン2 第11話「ヤング・アーティストVol.5」	18,1 9,20 ,21, 23,2 4,25 ,29,	新たに発掘されたバーンスタインの伝説のTVシリーズのシーズン2。若い音楽家を紹介するシリーズ5回目は、クラウディオ・アバドとズデニェク・コシュラーという未来の大指揮者が登場。	[出演]レナード・バーンスタイン（お話・指揮）ニューヨーク・フィルハーモニック、ハイディ・レーワルダー（ハープ）エイモス・アイゼンバーグ（フルート）ウェルドン・ベリー（クラリネット）クラウディオ・アバド（指揮）シュラミト・ラン（ピアノ）ペドロ・カルデロン（指揮）スティーヴン・ケイツ（チェロ）ズデニェク・コシュラー（指揮）[演目]ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル：ハープ協奏曲変ロ長調Op.4-6～第1楽章、モーリス・ラヴェル：序奏とアレグロ、シュラミト・ラン：ピアノと管弦楽のための奇想曲、バルトク・ベラ：ラプソディ第1番～第2部、ジョアキーノ・ロッシニ：歌劇『ウィリアム・テル』～序曲[収録]1963年11月23日フィルハーモニック・ホール、リンカーン・センター（ニューヨーク）[オリジナル放映日]1963年12月23日[映像監督]ロジャー・イングランドー ■字幕／約56分
バーンスタインの『ヤング・ピープルズ・コンサート』シーズン2 第12話「ヒンデミットの非凡な才能」	25,2 6,27 ,28, 30,3 1	新たに発掘されたバーンスタインの伝説のTVシリーズのシーズン2。ドイツの作曲家ヒンデミットの音楽の仕掛けとその魅力を鮮やかに解き明かす。	[出演]レナード・バーンスタイン（お話・指揮・ピアノ）ニューヨーク・フィルハーモニック[演目]パウル・ヒンデミット：5つの管楽器のための小室内音楽Op.24-2～第1楽章／交響曲『画家マティス』（第1楽章「天使の合奏」第2楽章「埋葬」第3楽章「聖アントニウスの誘惑」）[収録]1964年1月25日フィルハーモニック・ホール、リンカーン・センター（ニューヨーク）[オリジナル放映日]1964年2月23日[映像監督]ロジャー・イングランドー ■字幕／約55分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
バーンスタインの『ヤング・ピープルズ・コンサート』シーズン2 第13話「音楽の民族性と非民族性」	25,26,27,28,30,31	新たに発掘されたバーンスタインの伝説のTVシリーズのシーズン2。音楽における国民性・民族性をテーマに、民族性豊かな音楽と、そこから離れた音楽を説明。	[出演]レナード・バーンスタイン（お話・指揮・ピアノ） ニューヨーク・フィルハーモニック[演目]レインゴルト・グリエール：バレエ組曲『赤いけしの花』Op.70a～第6曲「ロシア水兵の踊り」、アントン・ウェーベルン：管弦楽のための5つの小品Op.10～第1楽章、チャールズ・アイヴズ：交響曲『ニューイングランドの祝日』（ホリデー・シンフォニー）～第3楽章「独立記念日（The Fourth of July）」、マヌエル・デ・ファリャ：バレエ音楽『三角帽子』～第1組曲、ベドルジハ・スメタナ：連作交響詩『わが祖国』～第2曲「モルダウ」 [収録]1964年11月21日フィルハーモニック・ホール、リンカーン・センター（ニューヨーク） [オリジナル放映日]1964年11月30日[映像監督]ロジャー・イングラダー ■字幕／約55分
映画『聖セバスティアンの殉教』	6,9,10,11,15,20	木に縛られ弓で射抜かれた姿の絵画で知られる聖セバスティアンの、キリスト教への回心から殉教までを描いた音楽映画。現在ではクラシカ・ジャパンでしかご覧いただけない、大変珍しい作品。19世紀末から20世紀初頭にかけて政治家としても活躍した詩人ガブリエーレ・ダヌンツィオと、フランス印象派音楽の作曲家クロード・ドビュッシーが意気投合して生まれた『聖セバスティアンの殉教』は、1911年5月22日パリのシャトレ座で、レオン・バクストの装置 & 衣裳、ミハイル・フォーキンの振付により、バレエとオペラ、芝居がミックスした神秘劇として初演された。	[原作]ガブリエーレ・ダヌンツィオの神秘劇『聖セバスティアンの殉教』[音楽]クロード・ドビュッシー [ストーリー]ローマ帝国時代。双子の兄弟が、キリスト教徒であるがゆえに、今まさに火焙りの刑に処せられようとしている。ローマの弓隊長セバスティアンは突然啓示を受け、キリスト教に目覚める。彼は捕らえられ、木の幹に縛られ、矢で射抜かれて絶命する。 [出演]マイケル・ピーン（セバスティアン） ニコラス・クレイ（皇帝） フランコ・チッティ（ローマ総督） ヤナ・フラヴァー・チョヴァー（母） ミカエル・グリュージュ（双子児） リュボミール・マルティネーク（双子児） アンドレア・コッポラ（キリスト） ウルス・アルトハウス（弓手） ピエトロ・スペシャール（弓手） ヤン・ガブリエル（弓手） イヴァン・ヴァルガ（弓手） ファビン・ガレットティ（弓手） 他 [指揮]サー・コリン・デイヴィス[演奏]フランス国立管弦楽団、フランス放送合唱団、アンネ＝ソフィー・フォン・オッター（双子児） ジャン・ペイリー（双子児） フランソワ・ブイロル（太陽神） カローレ・バヤッチ（セルセ） セドリック・ロストイチャー（セバスティアンの魂） テルツ少年合唱団のソリスト [監督]ベトル・ヴァイクル[撮影]イルジ・カダニェカ[音響]グレコ・カサデス[美術]カレル・リアー、ハサン・ディケル[衣裳]ミラン・コルバ [収録]1983年エフェソス、ディディマ、アイディン、サルデリスなどトルコ西部の古代ローマ時代の歴史遺産にて[制作]1984年
ドキュメンタリー「マリンスキー劇場～芸術の都に建つ」	3,4,5,6,7,8,10,15,	長い歴史を誇る音楽の殿堂、サンクトペテルブルク・マリンスキー劇場。幾多の困難を経て、2013年に完成した「第2劇場（新館）」誕生までの歩みを追う。	[出演]ヴァレリー・ゲルギエフ（指揮者） ジャック・ダイヤモンド（建築家） ガザヴィエ・ファール（建築家） 他 [監督]ヨシフ・フェイギンベルク[制作]2013年 ■字幕／約54分
ポートレート「ラトヴィアの作曲家ペトリス・ヴァスクス」	6,9,10,11,12	ラトヴィアを代表する現代作曲家の生誕70年の節目を飾るドキュメンタリー。本人が語る70年の歩み、自作、創作美学、自然との絆、そして音楽への愛。	[出演]ペトリス・ヴァスクス（作曲家） ニーク・デ・グロート（コントラバス奏者） マルコ・イロネン（チェロ奏者） ジントラ・ゲカ（映画監督／ヴァスクスの妻） ユハ・カンガス（指揮者） [主な楽曲]ペトリス・ヴァスクス：弦楽のための交響曲『声』／コントラバス独奏のためのソナタ／ティンパニ協奏曲／はかない鳥たちのための音楽／ブレーンスケープス／弦楽四重奏曲第2番『夏の歌』／四季～第1曲「白の景色」第3曲「緑の景色」／チェロ協奏曲／ムジカ・セレーナ／マドリガル集[監督]クリスティエーネ・ジェルヴェ[制作]2016年 ■字幕／約56分

CAD1803

GE1803

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等	
ポートレート「振付家マーティン・シュレプファー」	30,3 1	次期ウィーン国立バレエ芸術監督マーティン・シュレプファーの振付作品とダンサーとしての姿、挑戦を続ける彼の創造の源とその思想、日常生活までも紹介。	[出演]マーティン・シュレプファー（振付家・ダンサー） ハンス・ファン・マーネン（振付家） ゲルト・ヴァイゲルト（写真家） クリストフ・マイヤー（ドイツ・ライン歌劇場総支配人） アンネ・ド・パソ（劇作家） アドリアーナ・ヘルツキー（作曲家） 他[主な演目]ハンス・ファン・マーネン振付『日常』、マーティン・シュレプファー振付『深宇宙』『森、湖』『ブラムス - 交響曲第2番』『五重奏曲「ます」』[監督]アネット・フォン・ヴァンゲンハイム[制作]2015年 ■字幕／1時間35分（番組枠）	CE1813
メイキング「ムラド・メルズキのピクセル」	12,1 3,14 ,16, 17,1 8	ヒップホップというジャンルを越えてフランスのダンスシーンをリードするメルズキとカンパニー・カフィグ。ダンスとデジタルアートを融合させた話題作『ピクセル』の舞台裏に迫る。	[出演]ムラド・メルズキ（アーティストック・ディレクター＆振付） アドリアン・モンドー＆クレール・バルデンヌ（デジタルアート） ヤン・ティヴォリ（照明） パスカル・ロバン（衣装） カンパニー・カフィグのダンサーたち[映像監督]モハメド・アタムナ[制作]2015年 ■字幕／約33分	CNA1807
ドキュメンタリー「誰がボレロを盗んだか」	1,2, 3,8	生涯独身を貫いたラヴェル。『ボレロ』の世界的人気ゆえ、ドル箱と化した彼の著作権の相続を巡って繰り広げられた、金欲渦巻くバトルを追うドキュメンタリー。	[出演]マニュエル・ロザンタール（作曲家、ラヴェルの直弟子） アルトゥール・ルービンシュタイン（ピアニスト） クロード・ルルーシュ（映画監督） フロランス・モト（音楽批評家） マニュエル・コルネジョ（フランス「ラヴェル友の会」会長） アンドレ・マルフェイ（ラヴェル・アカデミー副代表） ジャック・ラング（政治家） アラン・リシャール（政治家） エマニュエル・ピエラ（弁護士） アンドレ・シュミット（弁護士） 他[監督]ファビアン・コー＝ラール[制作]2016年 ■字幕／約54分	GNT1801
ウェスト＝イースタン・ディヴァン・オーケストラ in ギルツブルク音楽祭2007	2,3, 4,5	2007年ギルツブルク音楽祭で大きな話題を呼んだのが、イスラエルとアラブの若者で構成されるウェスト＝イースタン・ディヴァン・オーケストラ（WEDO）の初参加でした。WEDOは、ユダヤ系音楽家ダニエル・バレンボイムとパレスチナ系文学者エドワード・サイド（2003年死去）の呼び掛けにより、1999年ゲートゆかりの地ドイツ・ワイマールで、イスラエルとアラブ諸国の若手音楽家で結成されたオーケストラ。	[出演]ダニエル・バレンボイム、ウェスト＝イースタン・ディヴァン・オーケストラ、ピエール・ブーレーズ、ロビン・ティチャーティ、ユルゲン・フリム、マルクス・ヒンターホイザー、パトリス・シェロー、クレメンス・ヘルスベルク[監督]クリスティアン・クルト・ヴァイス[制作]2007年 ■字幕／約56分	CU0922
ドキュメンタリー『アンドレ・プレヴィン～2つの世界をつなぐ橋』	1	プレヴィンの生い立ちから幼少時代、亡命から渡米後の生活まで、様々なエピソードが彼自身によって語られていく。アカデミー賞授賞式でのスピーチなど、貴重な映像も満載。	[出演]アンドレ・プレヴィン、ミア・ファーロー（女優／元妻） アンネ＝ゾフィー・ムター（ヴァイオリニスト／前妻） ルネ・フレミング（ソプラノ歌手） トム・ストップード（作家） デイヴィッド・フィンク（ベーシスト） 他 [監督]リアン・ビルンバウム＆ベーター・シュテファン・ユンク[制作]2008年 ■字幕／約53分	GU1026

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等	
ポートレート『マリス・ヤンソンス』	10,1 1,12 ,13, 14,1 5,16 ,17, 22	ラトビア出身のカリスマ指揮者マリス・ヤンソンス。人間性、音楽の柔軟性が高く評価されている巨匠の音楽への姿勢と素顔を追ったドキュメンタリー。	[出演]マリス・ヤンソンス（指揮者）シュテファン・ヘアハイム（演出家）ラン・ラン（ピアニスト）クレメンス・ヘルスベルク（ウィーン・フィル楽団長）ジュリア・カンター（エルミタージュ美術館歴史家）ルドルフ・ブッフビンダー（ピアニスト）クラッシミラ・ストヤノヴァ（ソプラノ歌手）トーマス・ハンブソン（バリトン歌手）ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、バイエルン放送交響楽団 [映像監督]ロベルト・ノイミュラー ■字幕／約53分	CU1208
ホワイト・ハンド・コーラス～障害を越えたハーモニー	2,3	2013年ザルツブルク音楽祭は、音楽を通じて貧困層の子供たちを救うベネズエラの画期的な音楽教育システム「エル・システム」が特集されました（今や世界的指揮者となった若き天才グスターボ・ドゥダメルもエル・システムの教育を受けた一人）。その中でも「ホワイト・ハンド・コーラス」は障害を持つ子供たちを社会と結びつけることを目的に1995年創設され、肉体的・精神的障害を持つ子供たちと白い手袋をした手の動きで歌う聴覚障害・聾啞の子供たちが同じステージで歌うユニークな合唱団として注目を浴びています。	[出演]ホワイト・ハンド・コーラス、ナイベス・ガルシア（指揮）ルイス・チンチージャ（指揮）ブランド・ドミンゴ[演目]フランシスコ・セスペデス（ホセ・D・コロナド編曲）：ラ・ビダ・ロカ、ベネズエラ民謡：ガバン、アントニオ・カルロス・ジョピン（グスターボ・フロレス編曲）：イパネマの娘、ホセ・フェルナンデス・ディアス（グスターボ・フロレス編曲）：グァンタナメラ、アストル・ピアソラ（リリアーナ・カリャーノ編曲）：天使の死、オスカル・ガリアン：サルセオ、リシャール・エギュエス（コンラド・マニエル編曲）：エル・ボデグロ、エドガール・マヒアス（ルイス・チンチージャ編曲）：タムナングェアンド、アデルイス・フレイテス（ルイス・チンチージャ編曲）：2人のガピラン、ペドロ・エリアス・グティエレス：アルマ・ジャネーラ（平原の魂）、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：アヴェ・ヴェルム・コルプス K.618 [収録]2013年8月8日&9日モーツァルテウム（ザルツブルク）「ザルツブルク音楽祭2013」[映像監督]クリスティアン・クルト・ヴァイス ■字幕／約51分	CU1416
ドキュメンタリー「マティアス・ゲルネの冬の旅」	3,16 ,17, 26	エクサンプロヴァンス音楽祭2014公演及びリハーサル映像を挿入しながら、ドイツ・リートに新たな地平を拓くゲルネとヒンターホイザー、ケントリッジの挑戦を綴る。	[出演]マティアス・ゲルネ（バリトン）マルクス・ヒンターホイザー（ピアノ）ウィリアム・ケントリッジ（ビデオ&コンセプト） [演目]フランツ・ペーター・シュベルト：歌曲集『冬の旅』D.911, Op.89より [映像監督]クリスティアン・レプレー[制作]2014年 ■字幕／約54分	CU1515
ティーレマンのリハーサル『影のない女』in ザルツブルク音楽祭2011	1,5, 21,2 8	ザルツブルク音楽祭へのオペラ指揮デビューに臨む“カリスマ”ティーレマンの音楽稽古に、カメラが潜入。貴重なインタビューも交えた充実のドキュメンタリー。	[出演]クリスティアン・ティーレマン（指揮者）エヴェリン・ヘルリツィウス（バラクの妻／ソプラノ）ヴォルフガング・コッホ（バラク／バリトン）ミハエラ・シュスター（乳母／メゾ・ソプラノ）アンネ・シュヴァネヴィルムス（皇后／ソプラノ）クリストフ・ロイ（演出家）ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団[映像監督]エリック・シュルツ[制作]2011年 ■字幕／約28分	CU1862
ポートレート『アルブレヒト・マイヤー』	19,2 0,23 ,24, 25	バンベルク響からベルリン・フィルのソロ・オーボエ奏者へ着実に国際的キャリアを歩むアルブレヒト・マイヤーの足跡を紹介。ベルリン・フィルやオーケストラ・モーツァルト、シンフォニア・ヴァルソヴィアとの共演など、パフォーマンス映像の数々は注目。	[出演]アルブレヒト・マイヤー（オーボエ）[監督]クリスティアン・クルト・ヴァイス[制作]2006年 ■字幕／約1時間	U0814J

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等	
ドキュメンタリー『パイロイト・スタイルの変遷』	23,2 4,25 ,26, 27,2 9		[出演]ヴィーラント・ワーグナー、ハインツ・ヨハン 他 [監督]ヴェルナー・リュエティエ ■字幕／約35分	U105
ブレンデルが語る巡礼の年～第1年『スイス』	13,1 6,17 ,18, 19	リスト弾きとしても知られた知性派ピアニスト、ブレンデルが1曲ごとに解説と演奏をし、リストの最高傑作『巡礼の年』第1年「スイス」の魅力に迫る。	[演目]フランツ・リスト：巡礼の年第1年『スイス』S.160（ウィリアム・テルの礼拝堂／ワレンシュタートの湖にて／パストラル／泉のほとりで／嵐／オーベルマンの谷／牧歌（エグローク）／望郷／ジュネーヴの鐘） [ピアノ&話]アルフレート・ブレンデル [収録]1986年3月5日ミドル・テンプル大ホール（ロンドン）[映像監督]ハンフリー・バートン ■字幕／約1時間1分	U306J
ブレンデルが語る巡礼の年～第2年『イタリア』	13,1 6,17 ,18, 19	リスト弾きとしても知られた知性派ピアニスト、ブレンデルが1曲ごとに解説と演奏をし、リストの最高傑作『巡礼の年』第2年「イタリア」の魅力に迫る。	[演目]フランツ・リスト：巡礼の年第2年『イタリア』S.161（婚礼／物思いに沈む人／サルヴァートル・ローザのカンツォネッタ／ペトルカソネット第47番／ペトルカソネット第104番／ペトルカソネット第123番／ダンテを読んで - ソナタ風幻想曲） [ピアノ&話]アルフレート・ブレンデル [収録]1986年3月5日ミドル・テンプル大ホール（ロンドン）[映像監督]ハンフリー・バートン ■字幕／約58分	U307J
TVエッセイ「シューマンの交響曲」	27,3 0,31 ,	リンデマンの文学的エッセイとウィーン・フィルの実演映像がオーバーラップする構成は見応え十分。シューマンの4曲の交響曲が実は音楽史的に偉大であることがわかる内容。	[監督&台本]クラウス・リンデマン[朗読]ゲオルク・コスティヤ[制作]1987年 ■字幕／約1時間1分	U4110